

人を活かして東栄の 魅力と未来を創造する

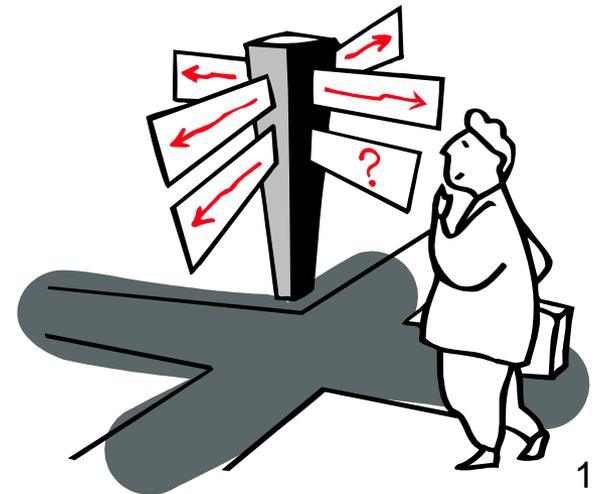
2016年2月6日

株式会社 日本総合研究所 主席研究員

株式会社 日本政策投資銀行 地域企画部 特任顧問

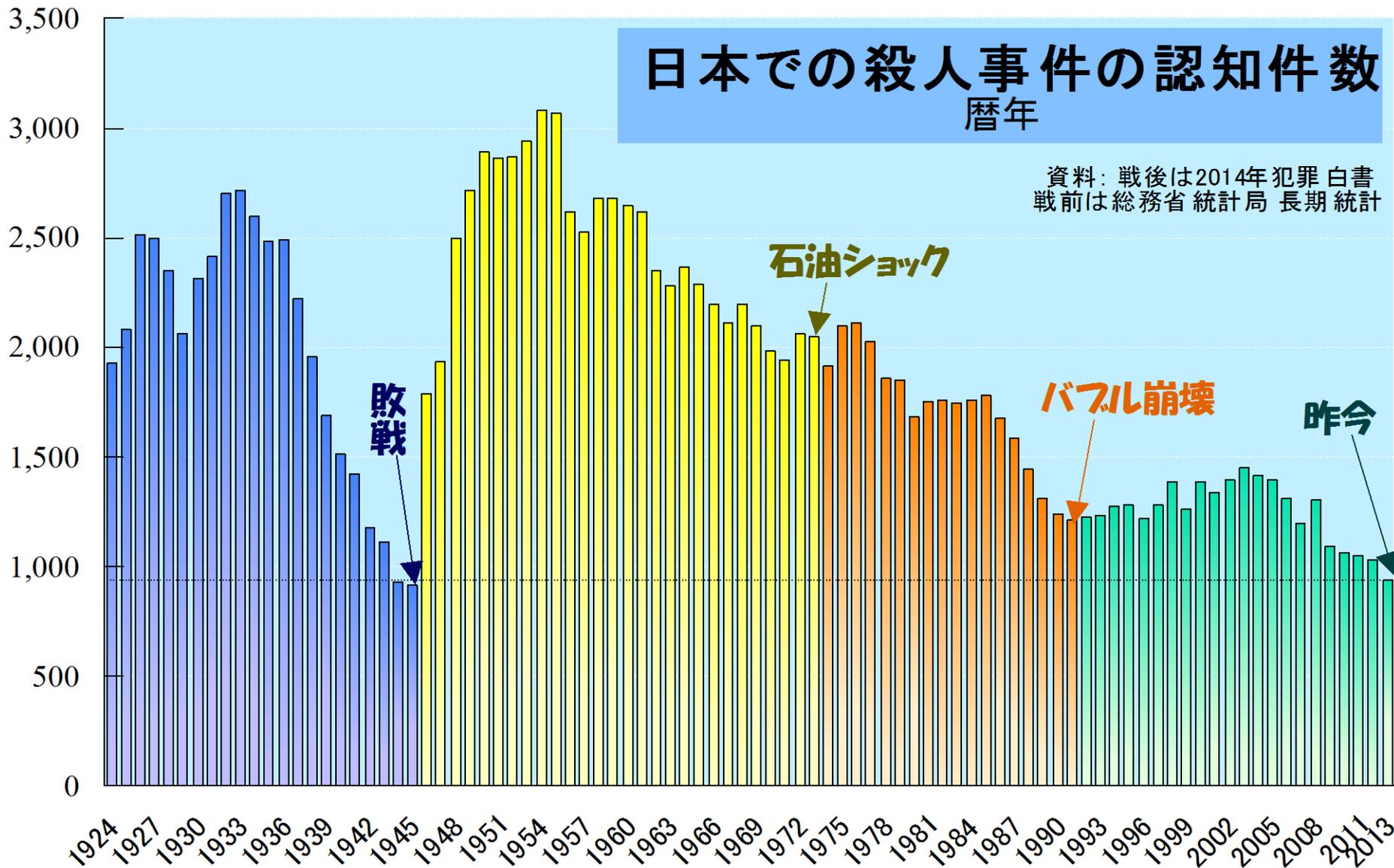
もたに
藻谷浩介

kosuke@motani.com



「イメージ」や「空気」は事実と違う

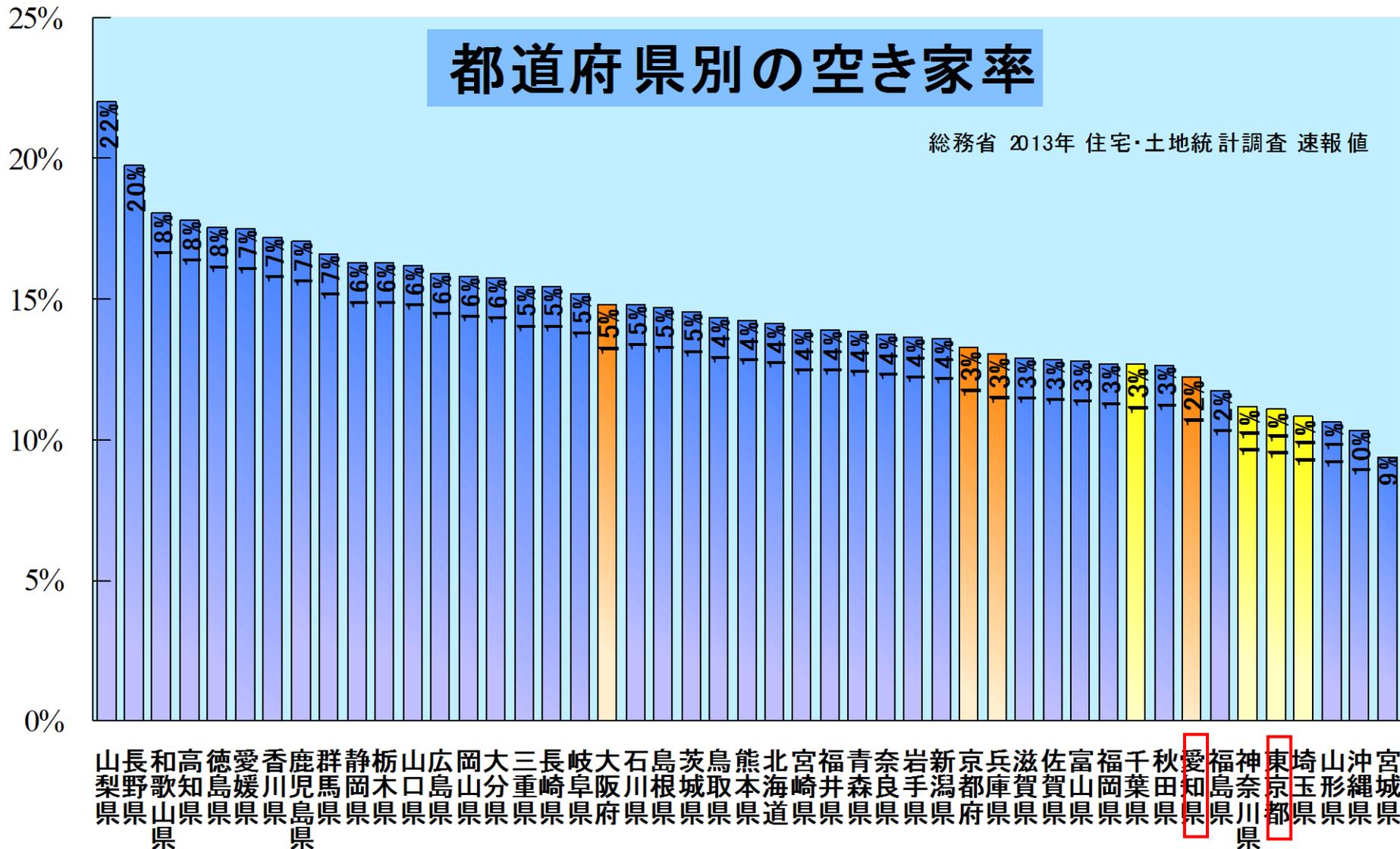
- 常に事実を数字で確認しないと間違える



日本の家の8軒に1軒が空き家

都道府県別の空き家率

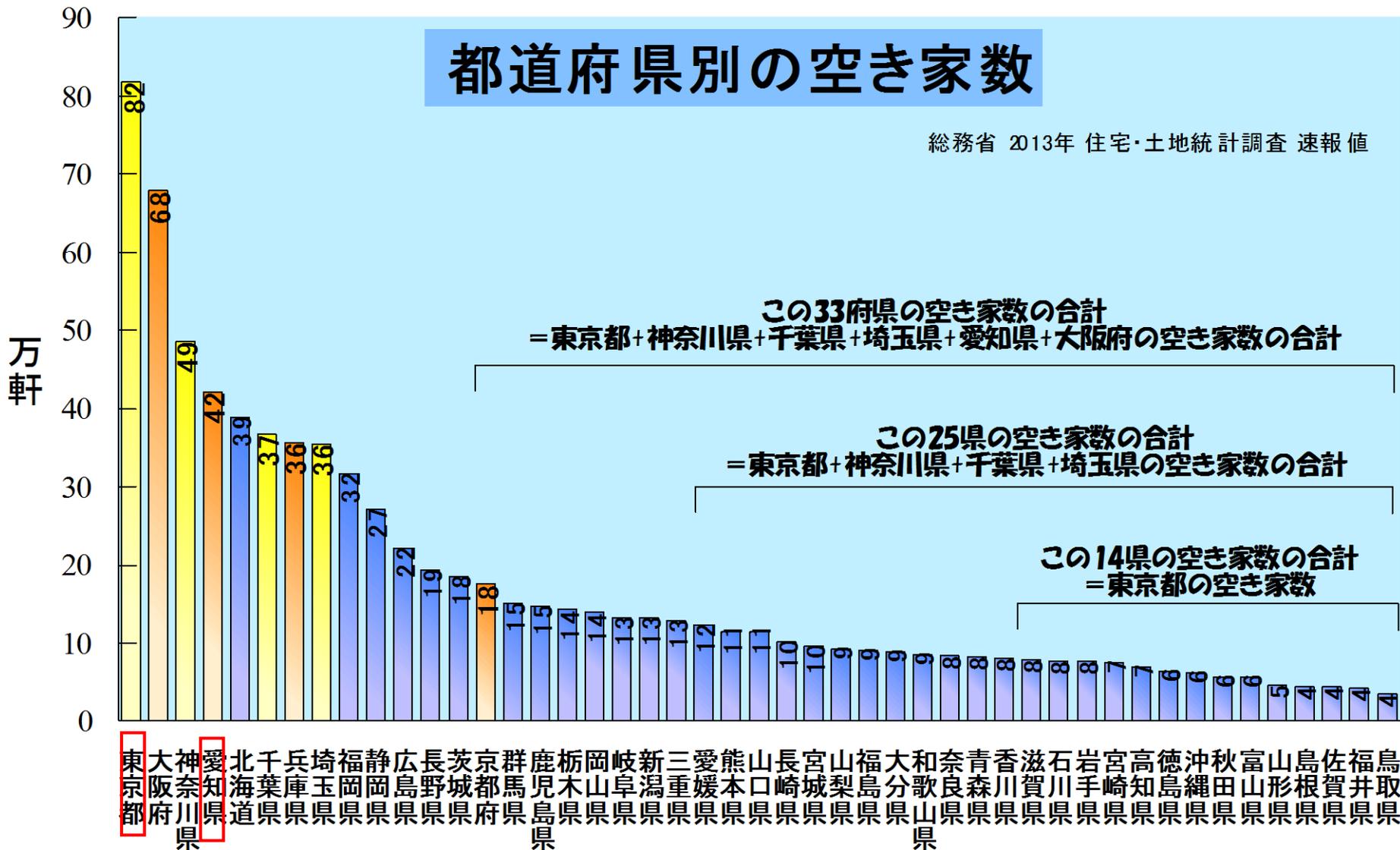
総務省 2013年 住宅・土地統計調査 速報値



空き家が多いのは大都市圏

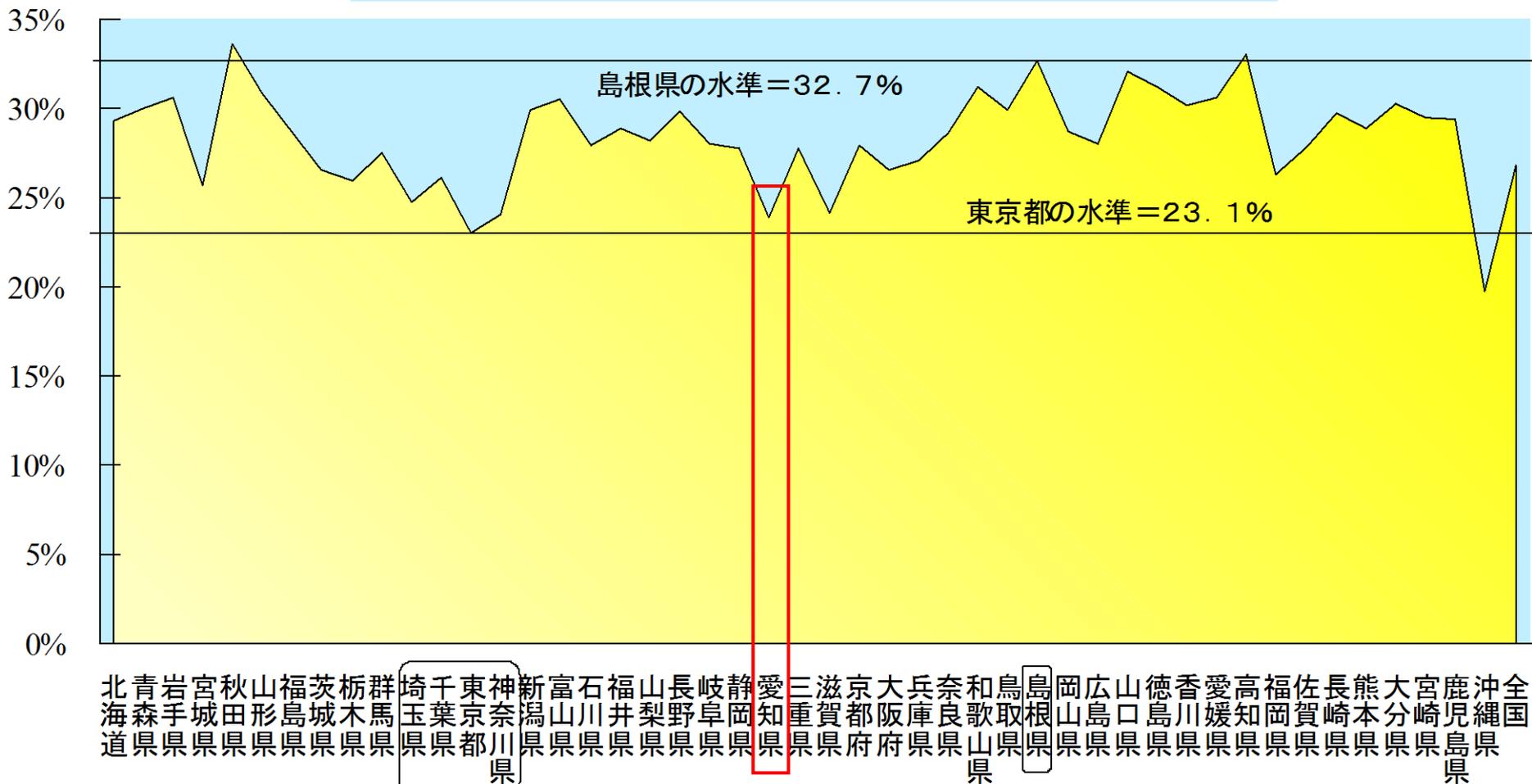
都道府県別の空き家数

総務省 2013年 住宅・土地統計調査 速報値



「高齢化率」にみる「地域間格差」

都道府県別の高齢化率 - 2015年

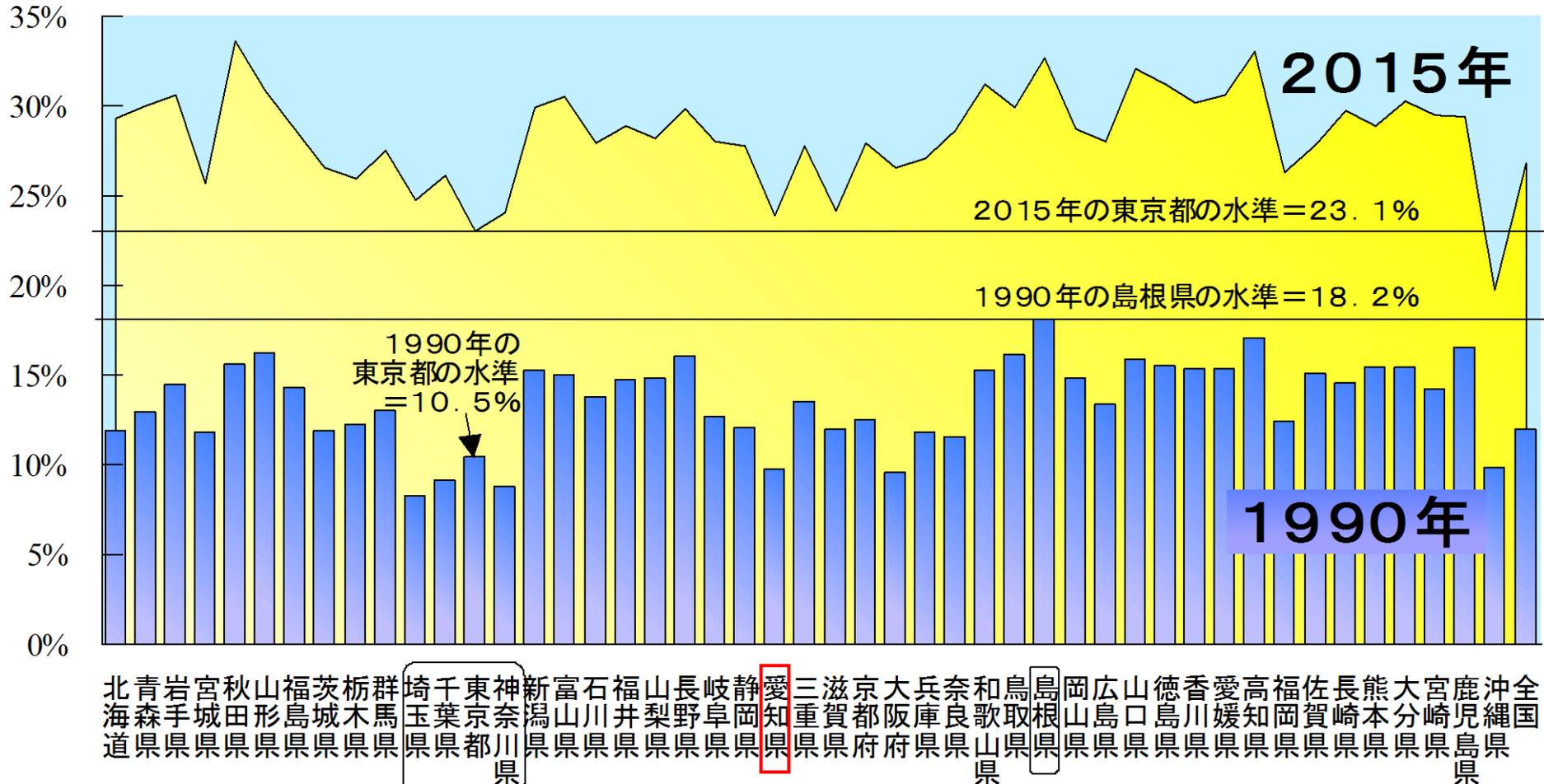


高齢化率: 65歳以上人口 ÷ 総人口

資料: 国立社会保障・人口問題研究所 2013年都道府県別予測

全国で同時に進んでいる「高齢化」

都道府県別の高齢化率 - 1990年と2015年



高齢化率: 65歳以上人口 ÷ 総人口
 1990年: 国勢調査 / 2015年: 国立社会保障・人口問題研究所 2013年都道府県別予測

地域活性化って何ですか？

- ？ 交通が便利になることだ。
- ？ 工場や職場が増えることだ。
- ？ もっと好景気になることだ。
- ？ 人口が減らなくなることだ。

交通が便利になって、工場が増えて、好景気になれば、人口は減らなくなると、あなたは今なお本気で信じていますか？

地域活性化って何ですか？

- ? これ以上交通を便利にするよりも
- ? これ以上工場を増やそうとするよりも
- ? 好景気・不景気と騒ぐのでもなく

- ◎ 人口が減らなくなること。
- ◎ 若者が戻ってきて、子供が生まれ続けること。
- ◎ 誇りを持って地域を残すこと。

若者が戻らない地域の共通点

- × **インフラ整備以外に目標が浮かばない**
- × 都会から高速道路ですぐ行ける
- × **経営者や公務員の家が都会にある**
- × 生鮮品を都会に生で安売りする
- × **懇親会に地酒・地魚・地野菜が出ない**
- × 親が子供に「この町はダメだ」と言う
- × **年寄りが「今だけ・金だけ・自分だけ」**
- × 「何も無い」と「当たり前」が口癖

若者がー共通点

「うちには何もない」
「そんなのここでは当たり前」
は、謙遜どころか罰当たり。

「何かある」「当たり前ではない」から
こそ、先祖がここを選んだのに...

「当たり前」ではなく「有難い」
が口癖の地域だけが残る。

ここにしかないものは何か、
お客様に教わろう！

「何もない」から口癖

東栄町で最近起きていること

(2010年3月末→2015年年始の日本人の数の変化、住民票ベース)

総人口：2010年3月31日→15年1月1日 $\Delta 387$ 人

50年足らずで人口がゼロ！になってしまいうペースの、深刻な減少 

30年少々で現役世代がゼロ！になってしまいうペースの、過酷な減少

0-14歳人口の増減：

10年度末 309人→15年始

↓絶対数	285人	↓増減	$\Delta 24$ 人	$\Delta 8\%$
------	------	-----	---------------	--------------

15-64歳人口の増減：

10年度末 1,865人→15年始

↓絶対数	人	↓増減	人	
------	---	-----	---	--

65歳以上の人口：

10年度末 1,821人→15年始

↓絶対数	人	↓増減	人	
------	---	-----	---	--

↑その中の75歳以上の人口：

10年度末 1,170人→15年始

↓絶対数	人	↓増減	人	
------	---	-----	---	--

豊田市で最近起きていること

(2010年3月末→2015年年始の日本人の数の変化、住民票ベース)

総人口：2010年3月31日→15年1月1日 +0.0万人

ぽったり人口増加が止まってしまった ↑

90年足らずで現役世代がゼロ！ になってしまいうペースの、不意打ちのような減少

0-14歳人口の増減：

10年度末 6.2万人→15年始

↓絶対数

5.9万人

↓増減

△0.3万人

△5%

15-64歳人口の増減：

10年度末 27.8万人→15年始

↓絶対数

万人

↓増減

万人

65歳以上の人口：

10年度末 6.8万人→15年始

↓絶対数

万人

↓増減

万人

↑その中の75歳以上の人口：

10年度末 2.8万人→15年始

↓絶対数

万人

↓増減

万人

東京23区で最近起きていること

(2010年3月末→2015年年始の日本人の数の変化、住民票ベース)

総人口：2010年3月31日→15年1月1日 +23.3万人

都心居住の普及で、どんどん人口が増えている！



実は増えているのは子供と65歳以上で、多く税金を払う現役世代は減少中...

0-14歳人口の増減:

	↓絶対数	↓増減
10年度末 96万人→15年始	100万人	+4.2万人 +4%

15-64歳人口の増減:

	↓絶対数	↓増減
10年度末 583万人→15年始	万人	万人

65歳以上の人口:

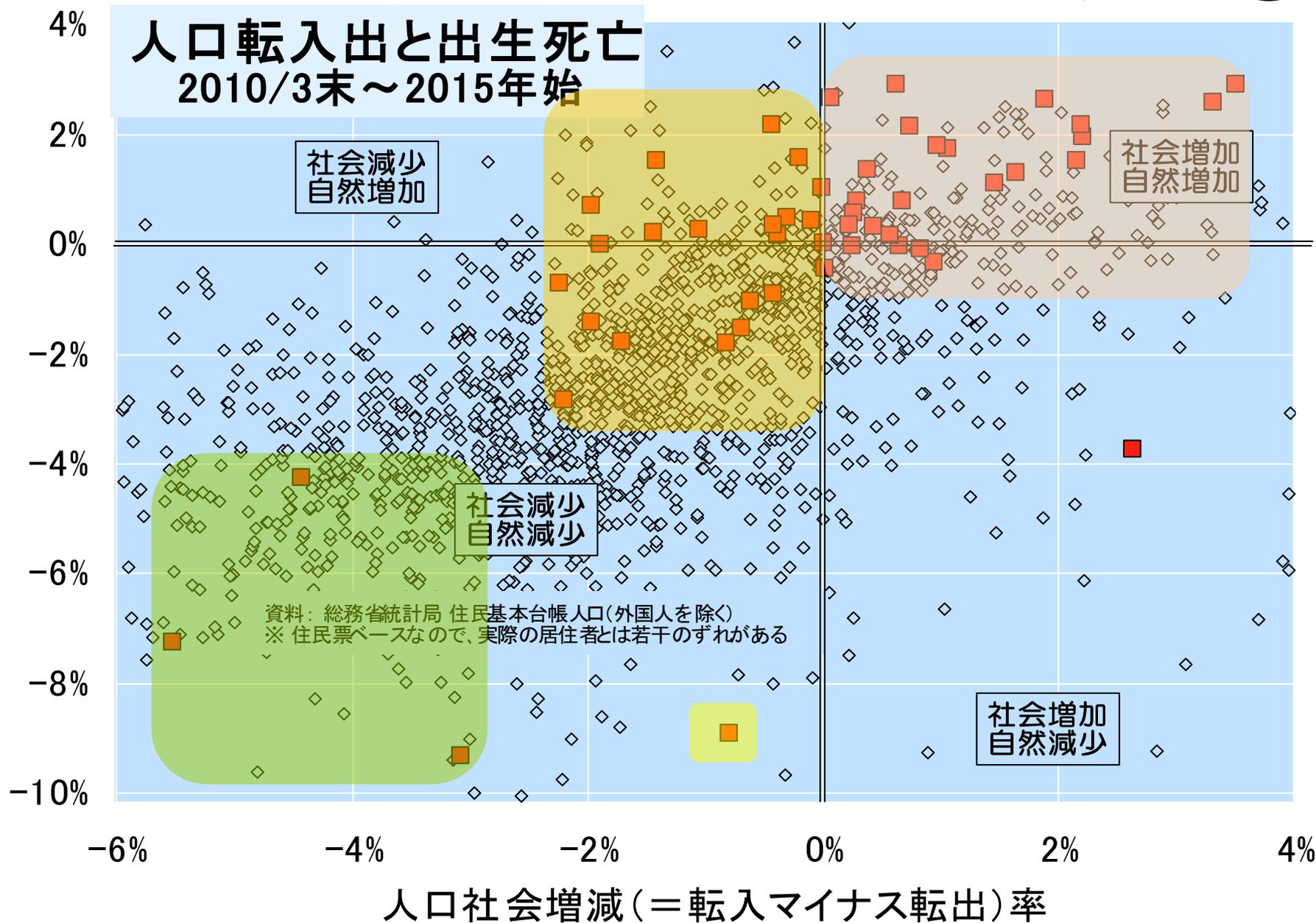
	↓絶対数	↓増減
10年度末 173万人→15年始	万人	万人

↑その中の75歳以上の人口:

	↓絶対数	↓増減
10年度末 80万人→15年始	万人	万人

人口でみた市町村の最新の成績表①

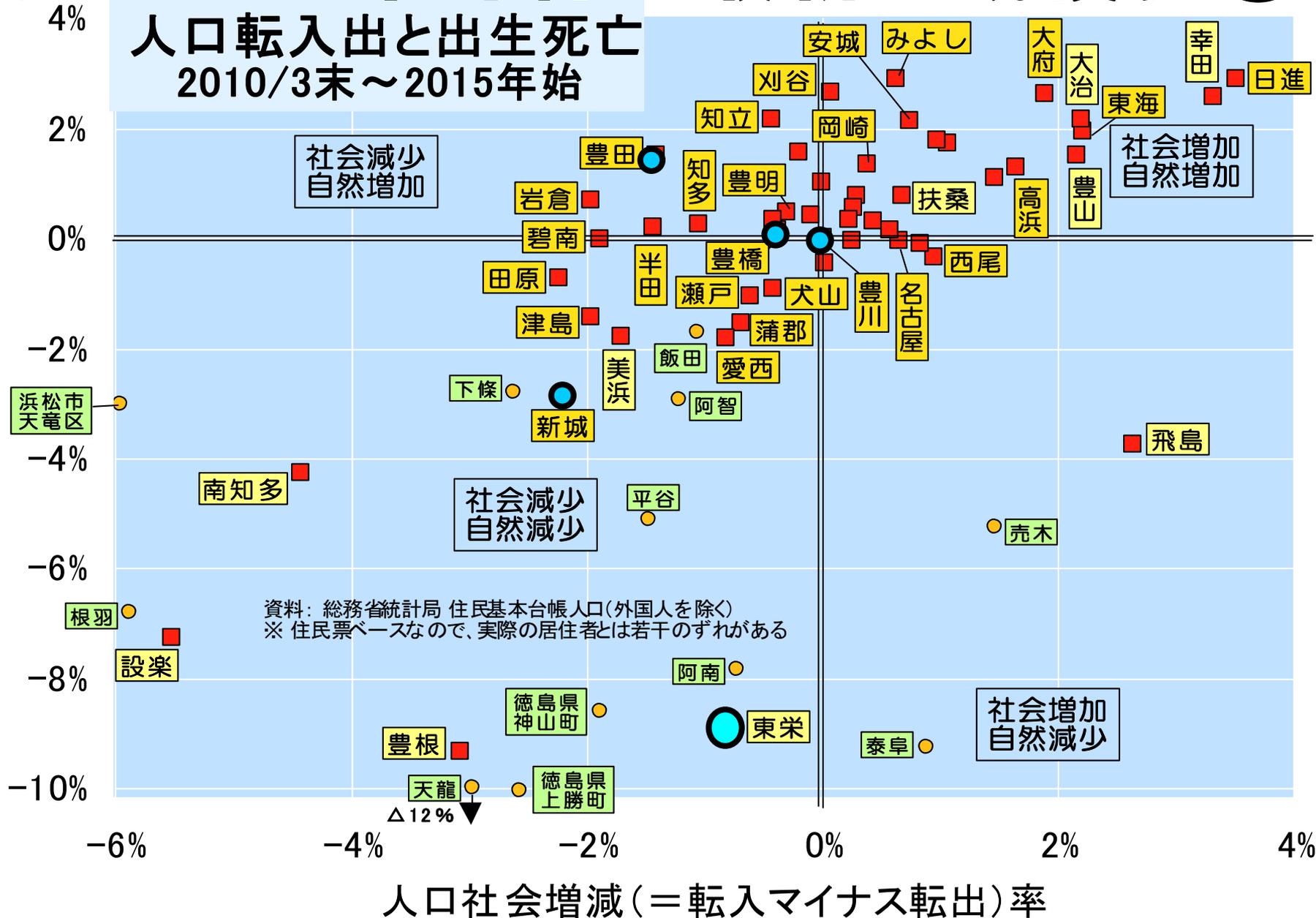
人口自然増減(=出生マイナス死亡)率



人口でみた市町村の最新の成績表①

人口転入出と出生死亡 2010/3末～2015年始

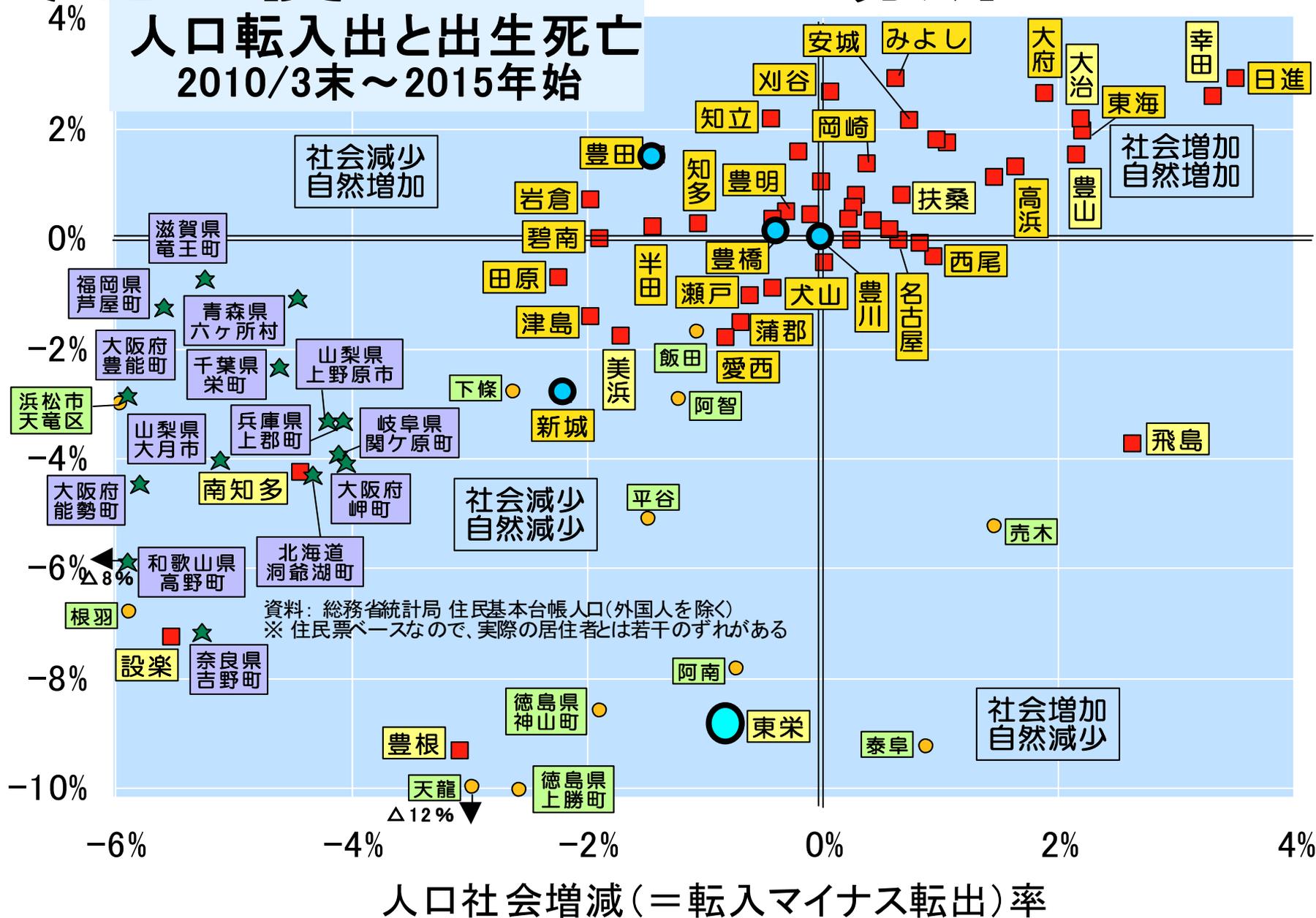
人口自然増減(=出生マイナス死亡)率



交通至便でもダメな場所はダメ

人口転入出と出生死亡 2010/3末～2015年始

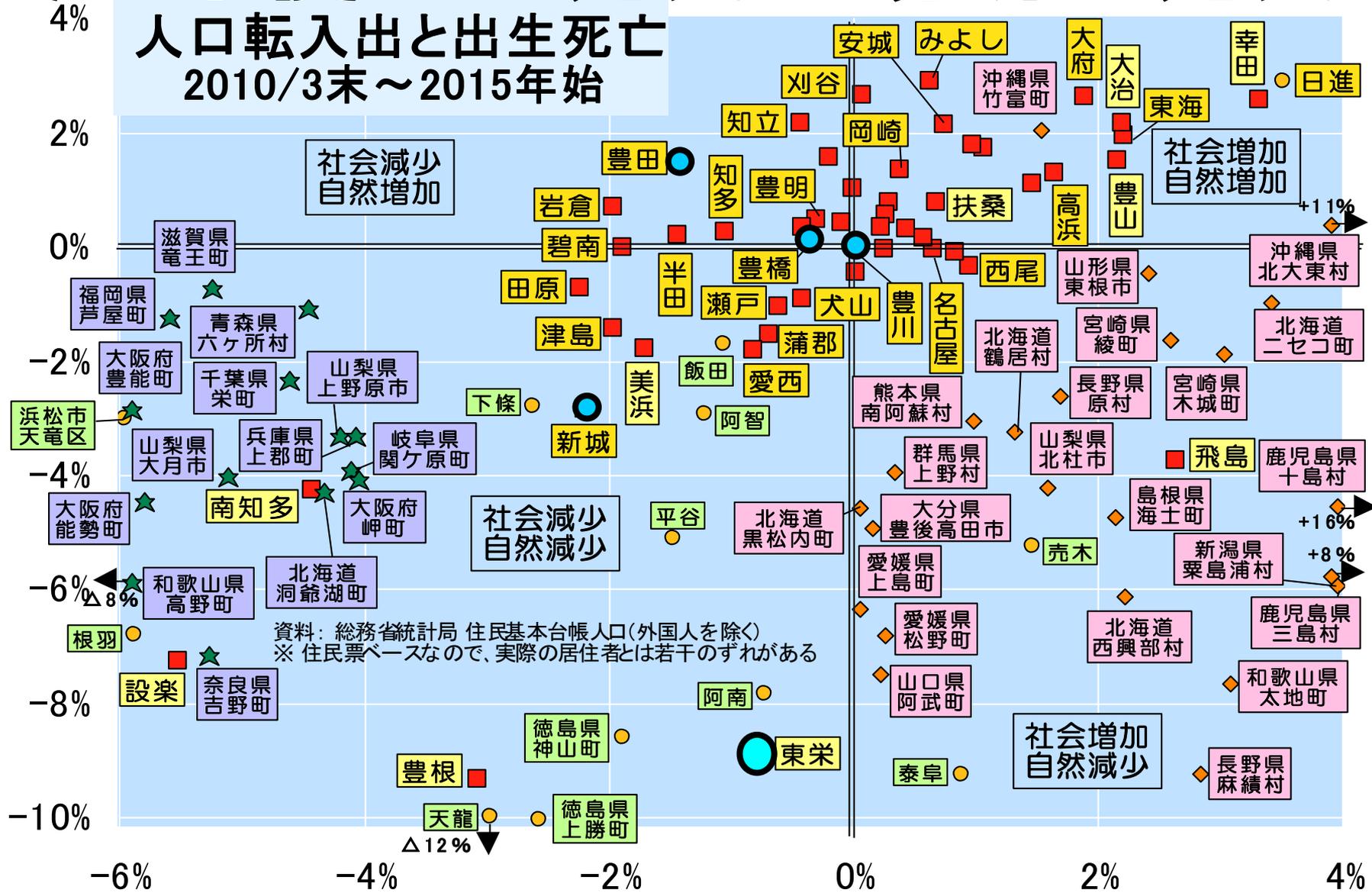
人口自然増減(=出生マイナス死亡)率



交通不便でも元気な場所は元気

人口転入出と出生死亡
2010/3末～2015年始

人口自然増減(=出生マイナス死亡)率

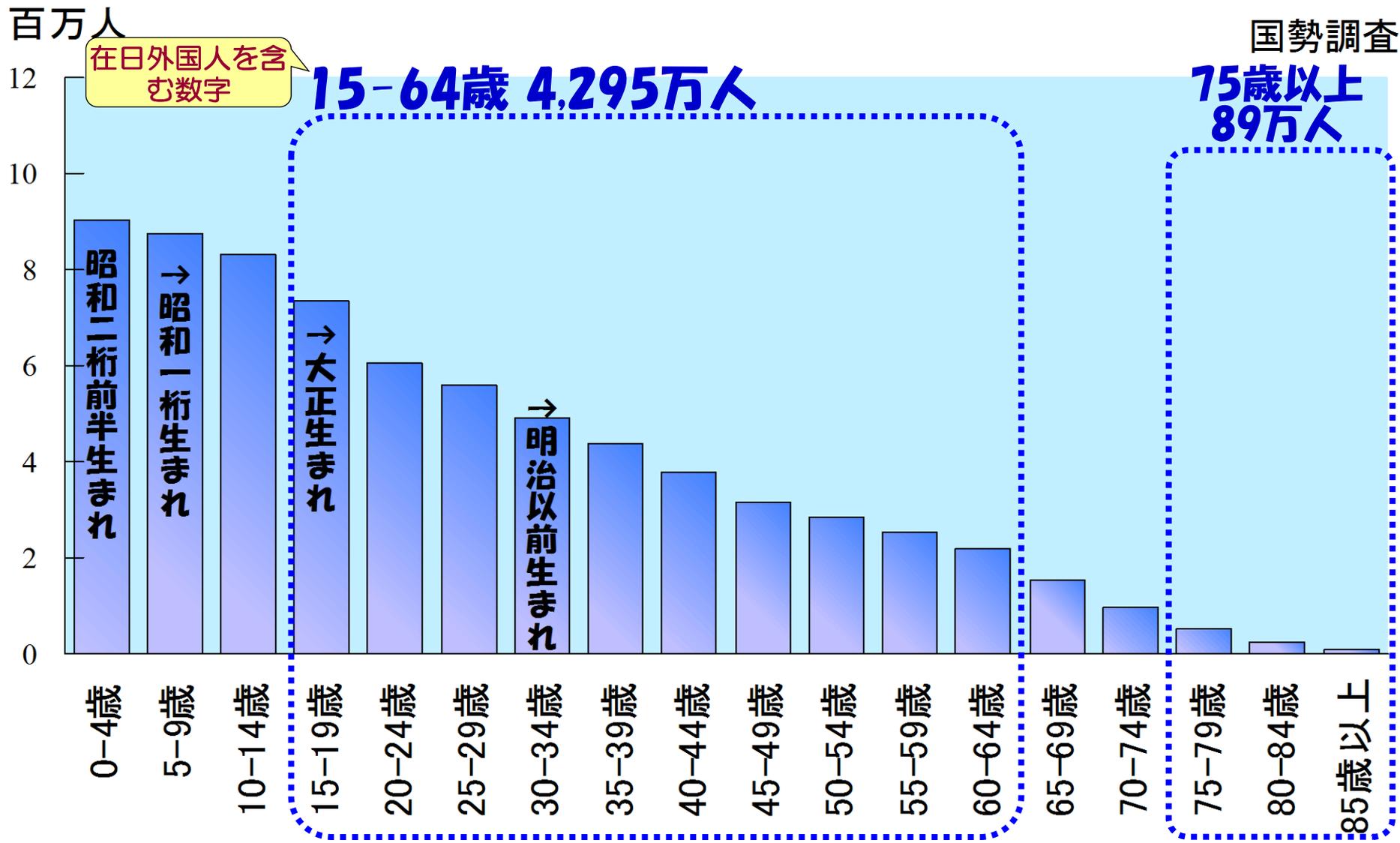


人口社会増減(=転入マイナス転出)率

日米開戦前夜の日本在住者



何歳の人口が多かったのか：1940 (S15) = 75年前

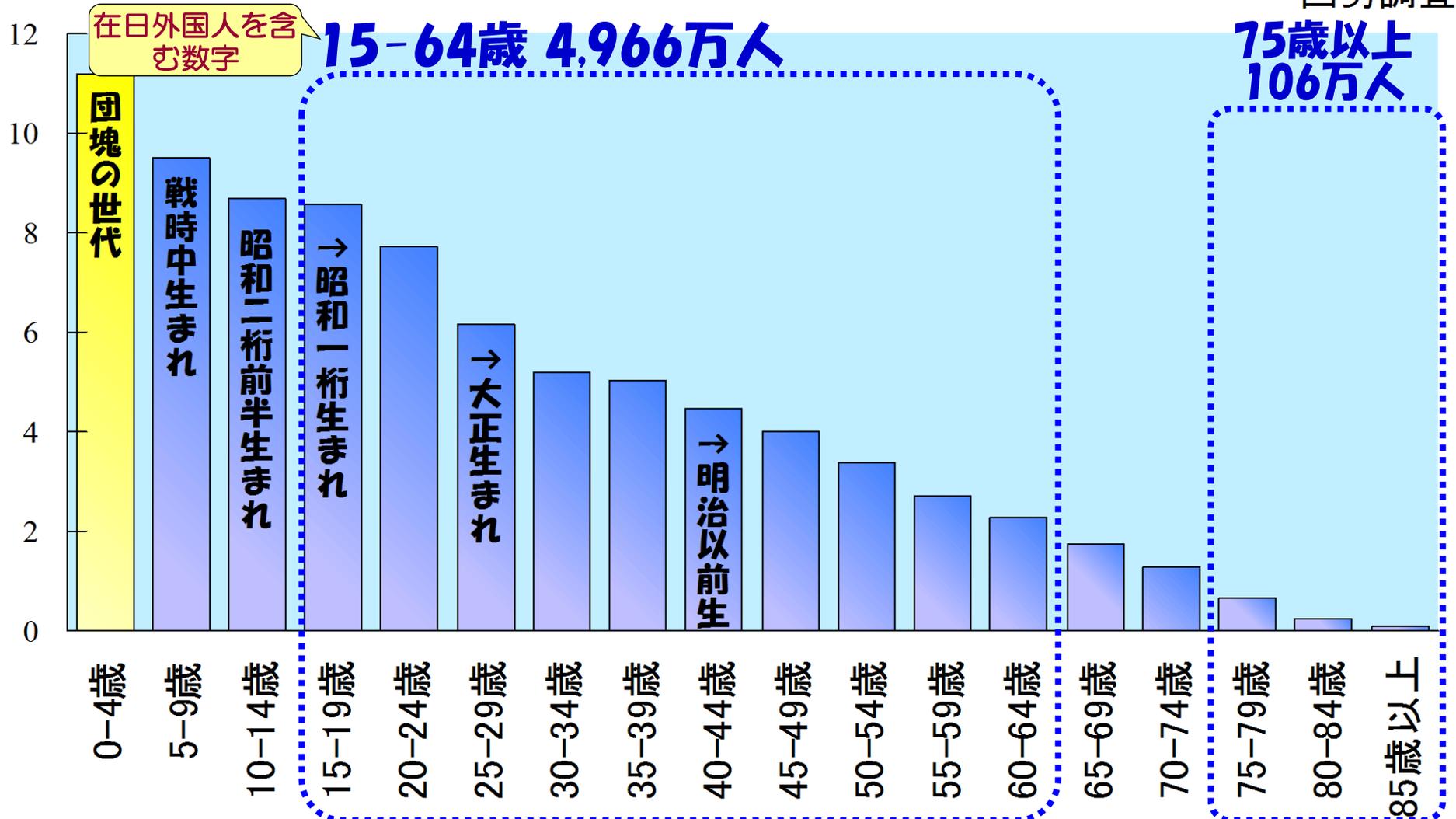


戦後復興の頃の日本在住者



何歳の人口が多かったのか：1950 (S25) = 65年前

百万人

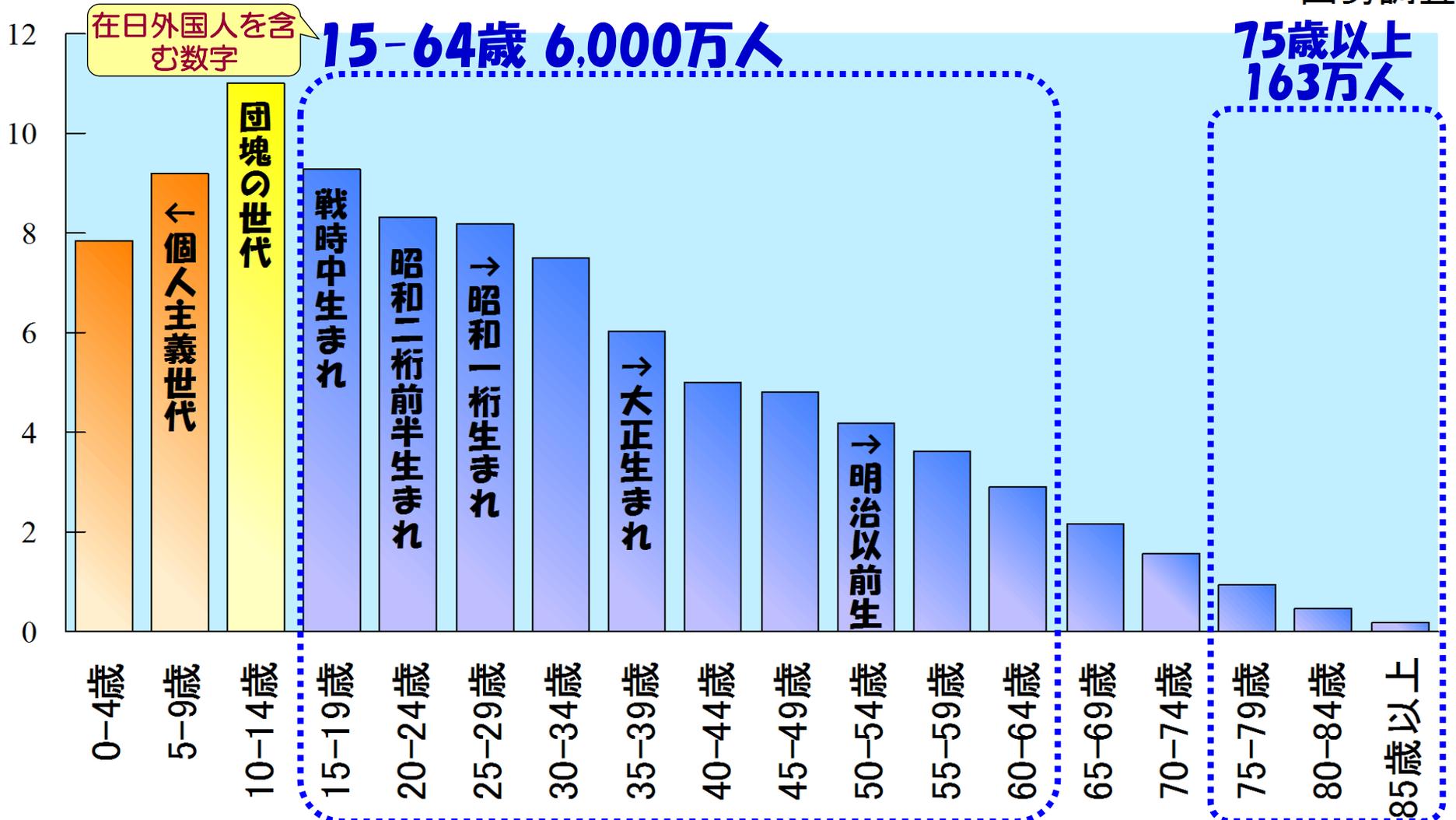


所得倍増計画の頃の日本在住者



何歳の人口が多かったのか：1960 (S35) = 55年前

百万人



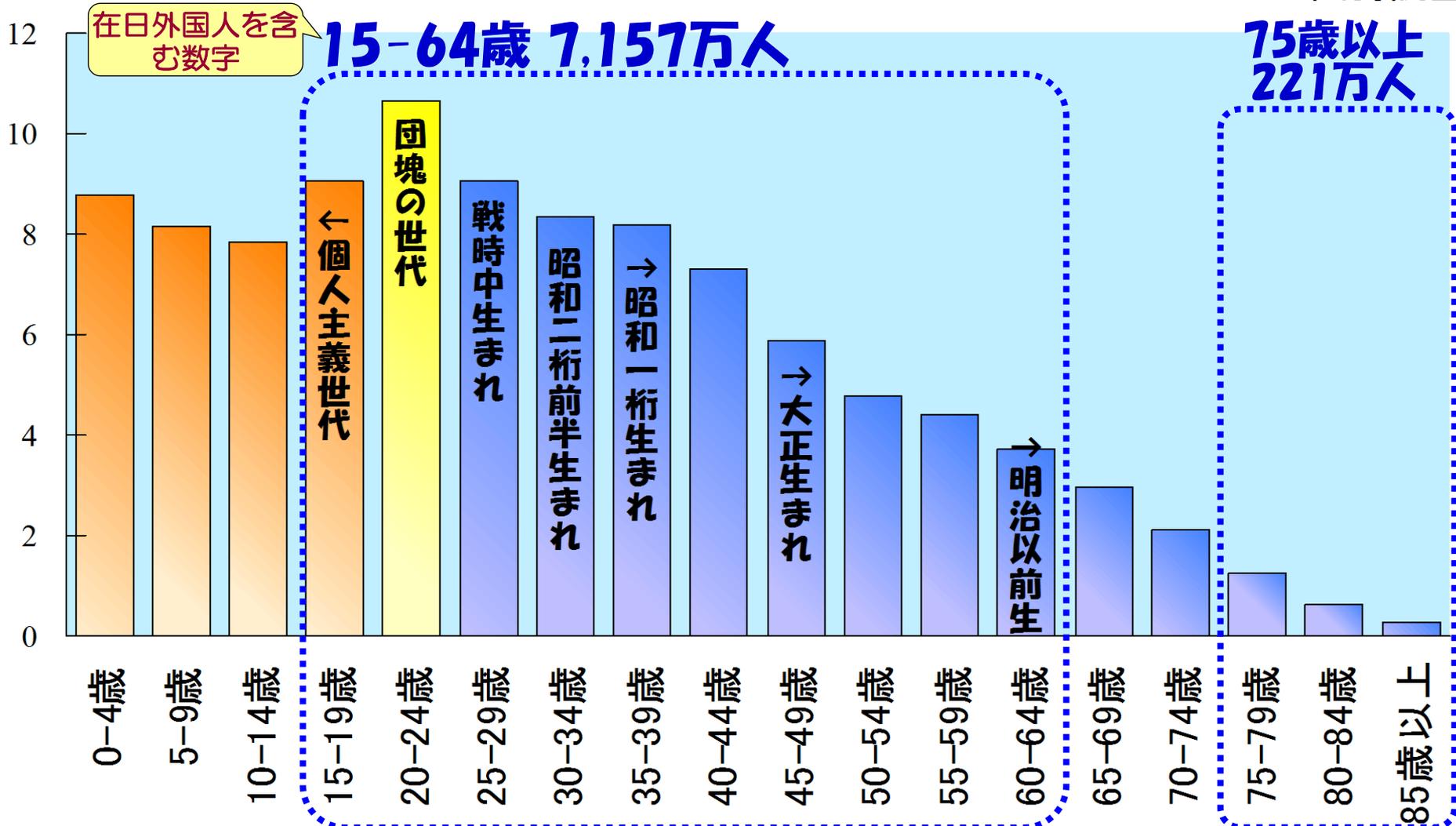
大阪万博の頃の日本在住者



何歳の人口が多かったのか：1970 (S45) = 45年前

百万人

国勢調査

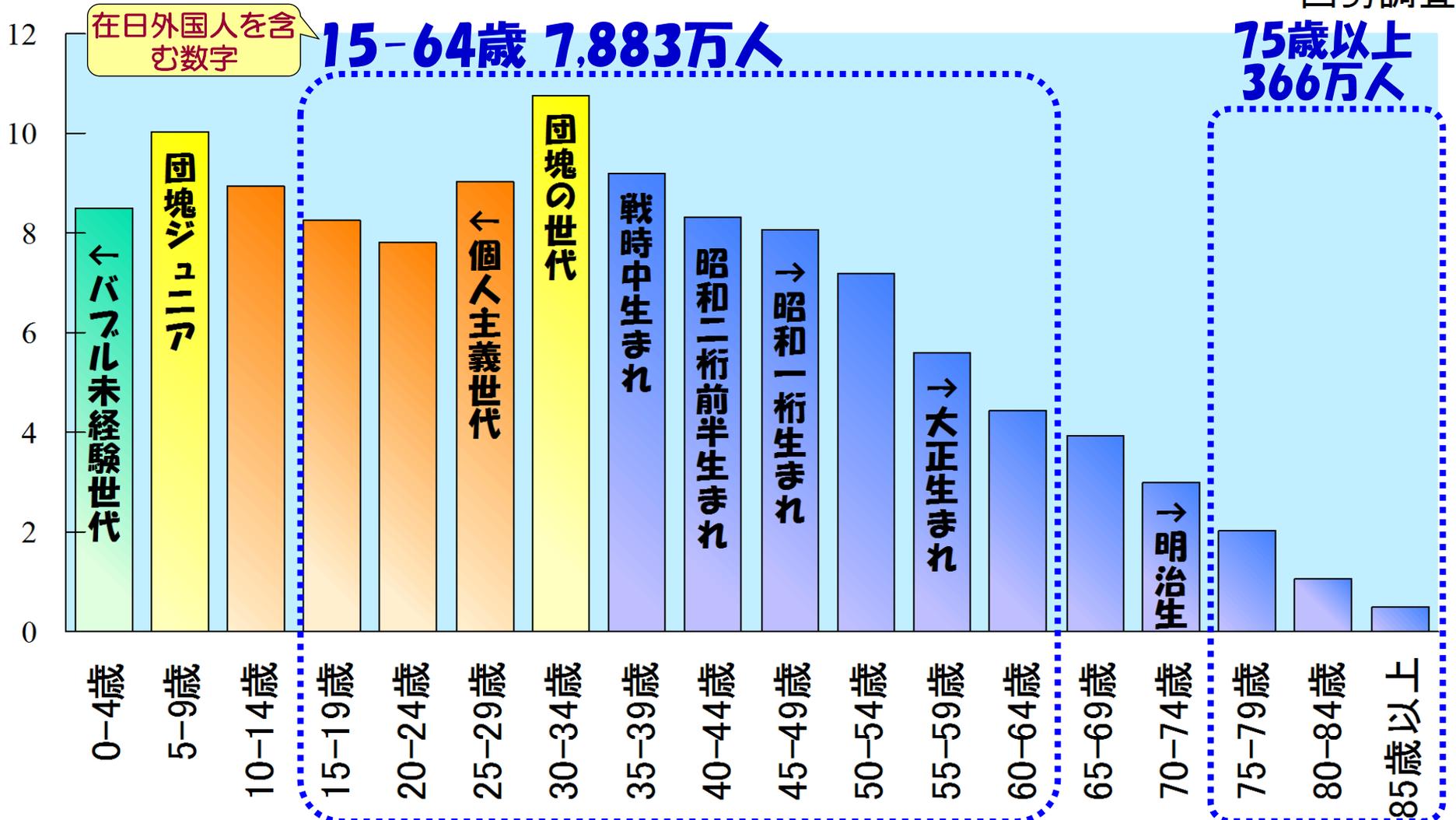


安定成長移行期の日本在住者



何歳の人口が多かったのか：1980 (S55) = 35年前

百万人



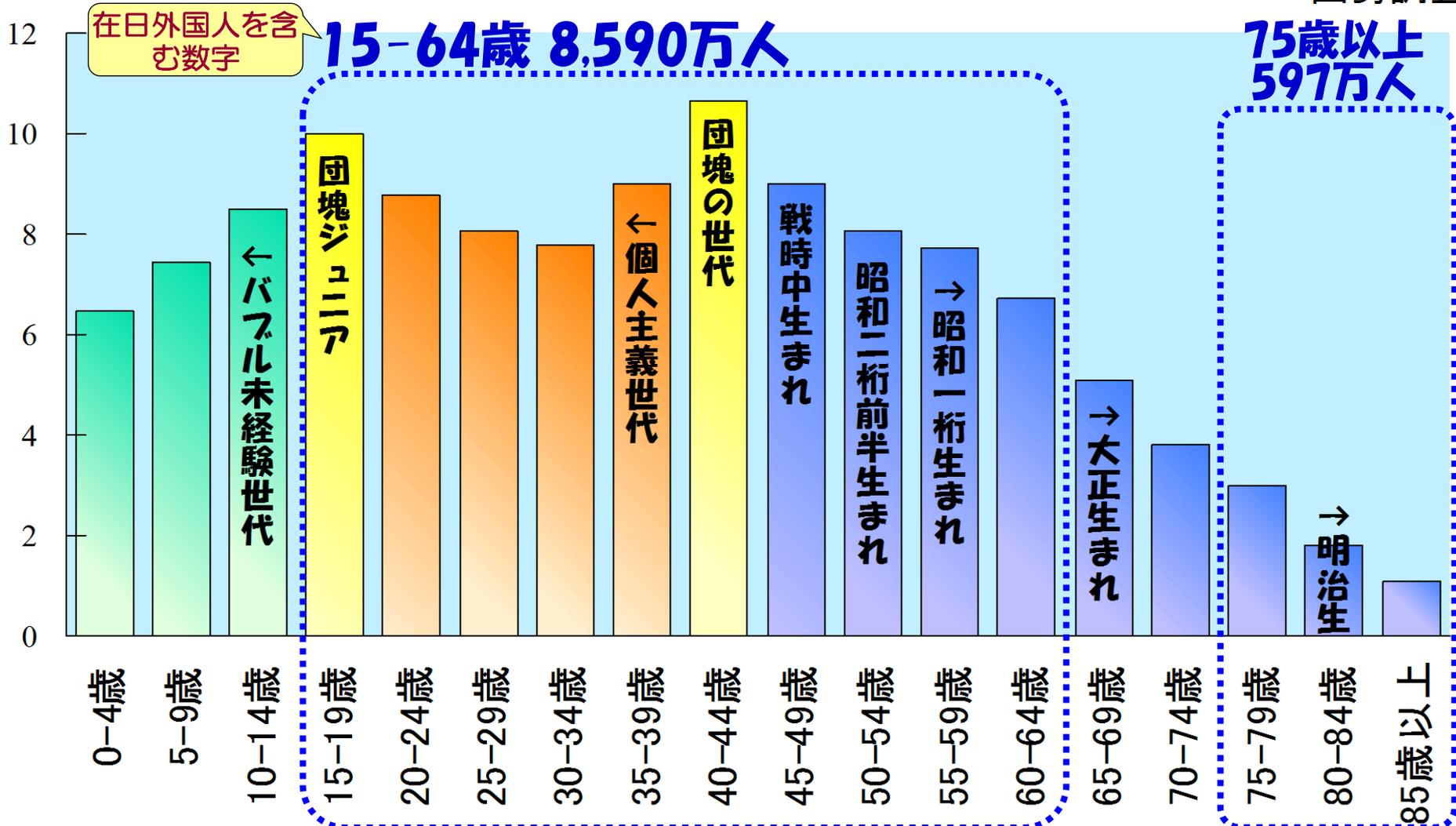
バブル最盛期の日本在住者



何歳の人口が多かったのか：1990 (H2) = 25年前

百万人

国勢調査



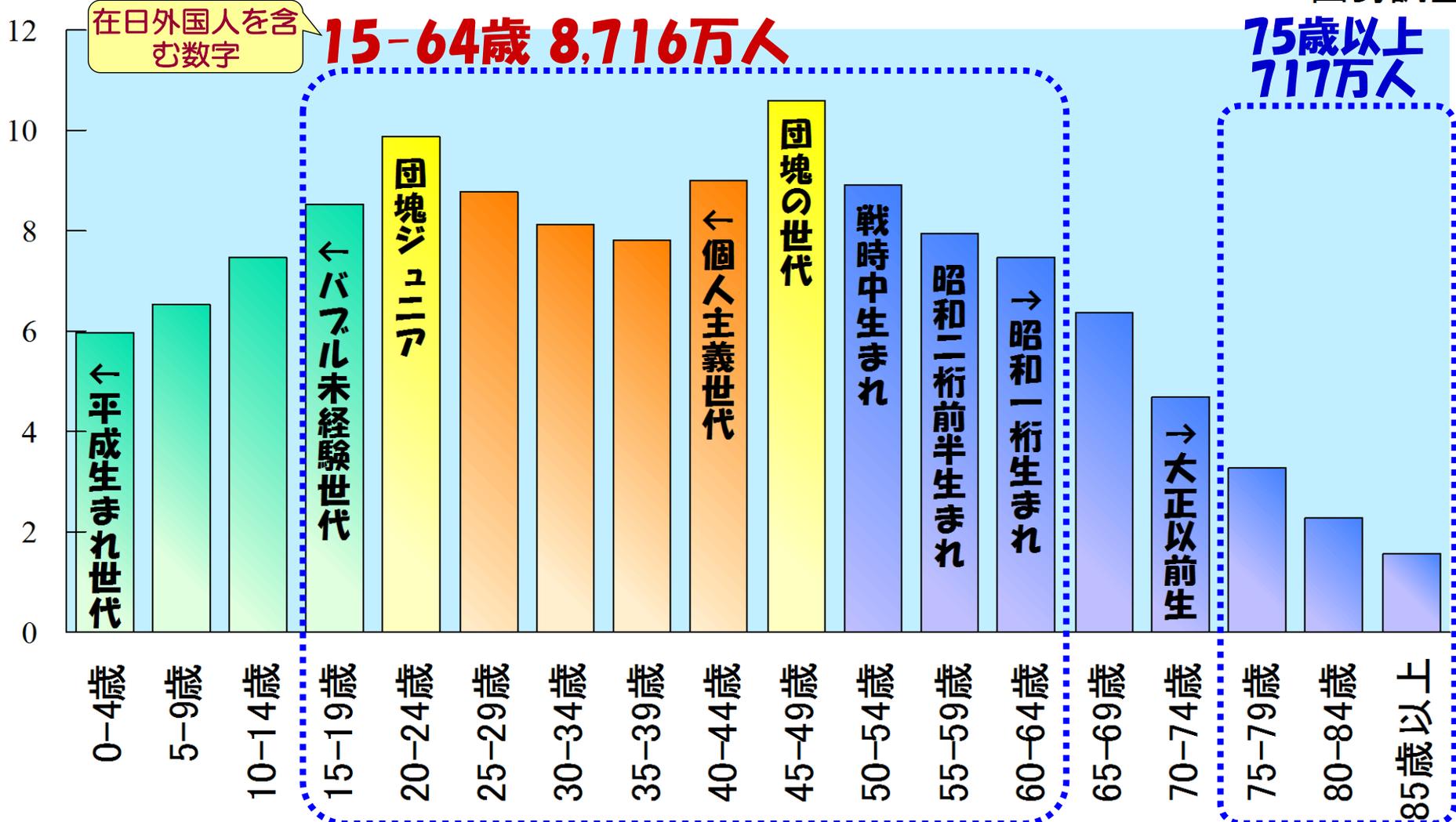
就職氷河期の頃の日本在住者



何歳の人口が多かったのか：1995 (H7) = 20年前

百万人

国勢調査



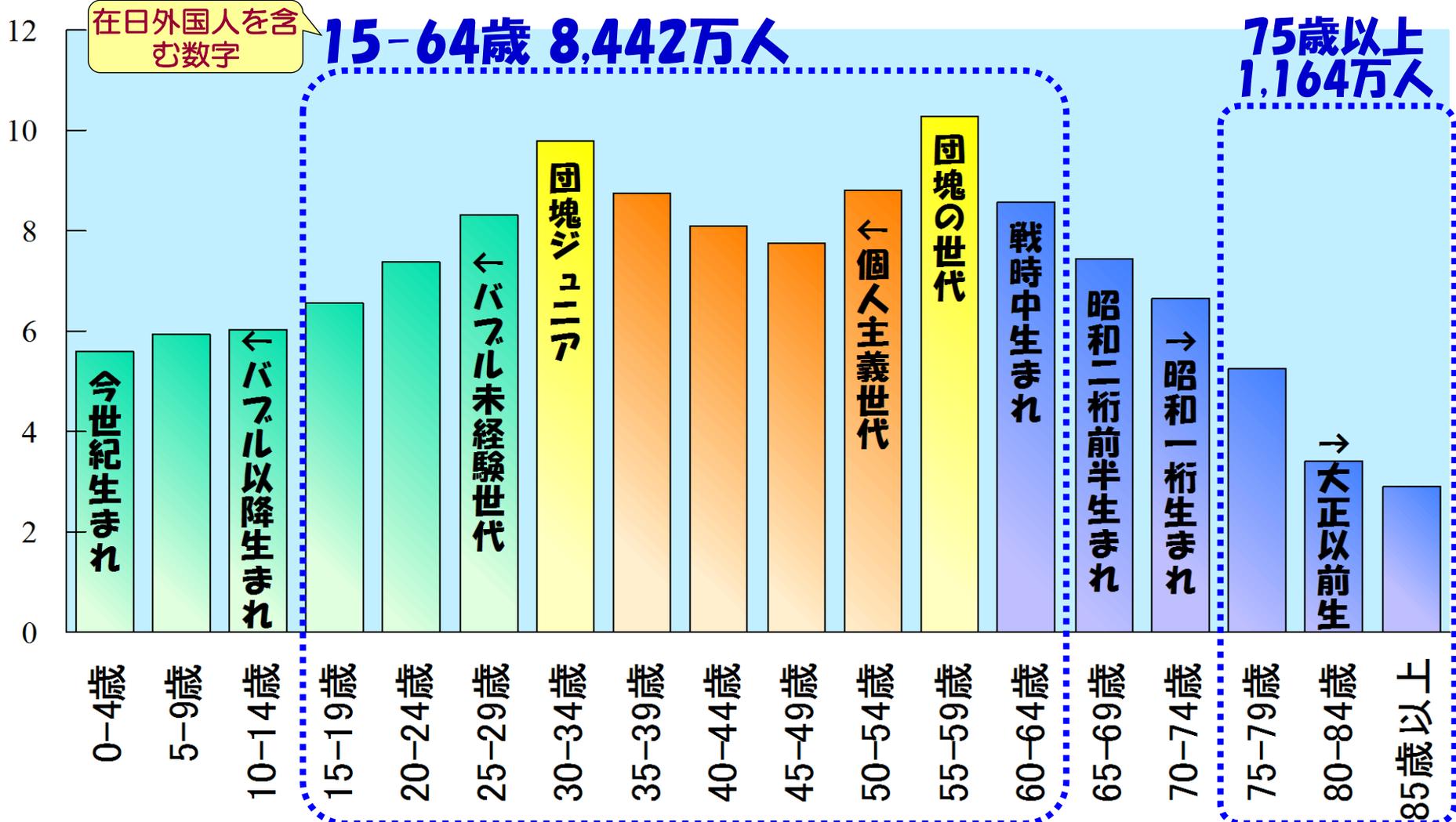
リーマンバブルの頃の日本在住者



何歳の人口が多かったのか：2005 (H17) = 10年前

百万人

国勢調査結果を国立社会保障・人口問題研究所が補正



現在の日本在住者

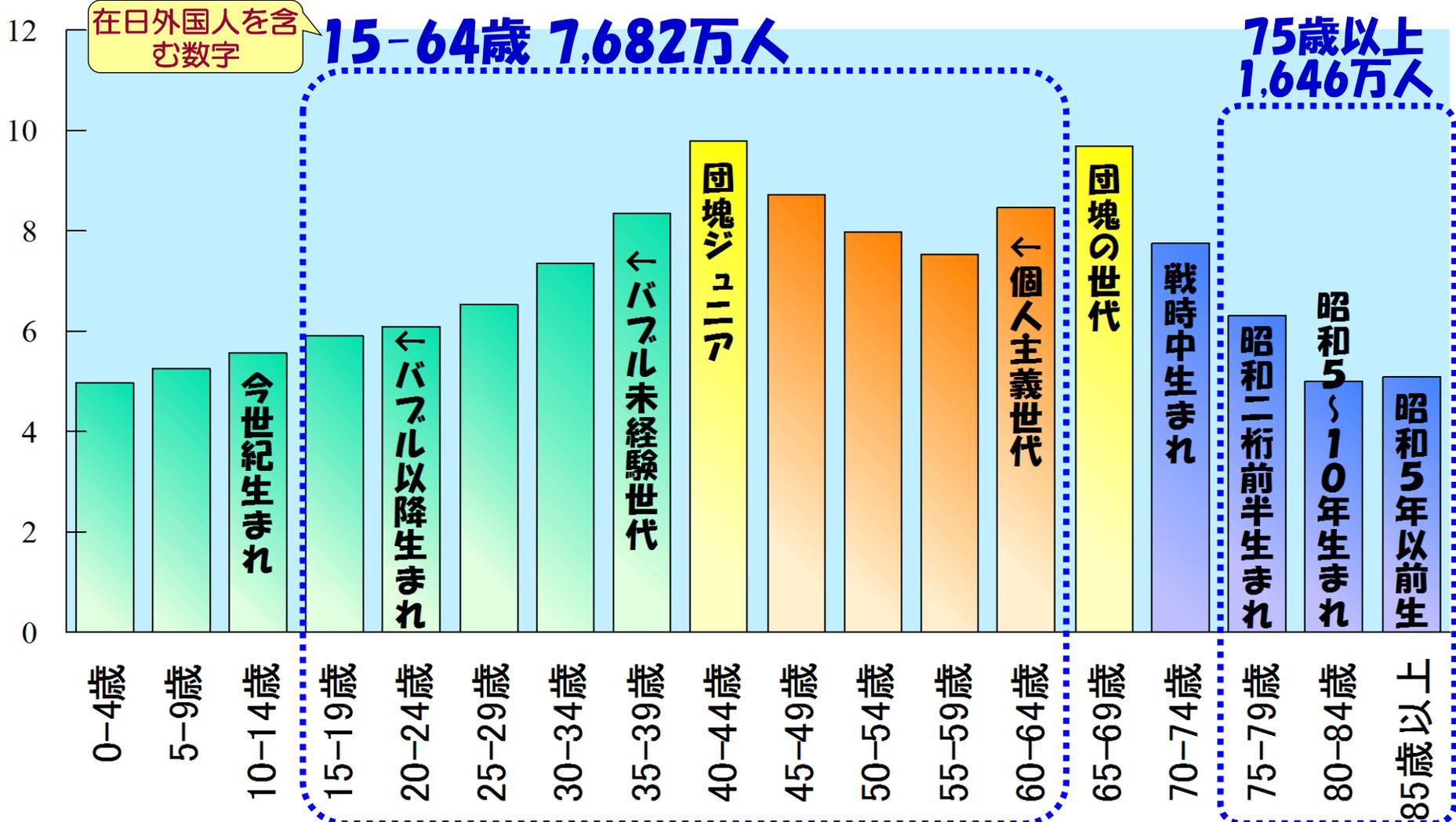


2005-2010年の
トレンドを
伸ばした中位推計

何歳の人口が多いのか:2015=現在

百万人

国立社会保障・人口問題研究所中位推計 (2012年改訂)



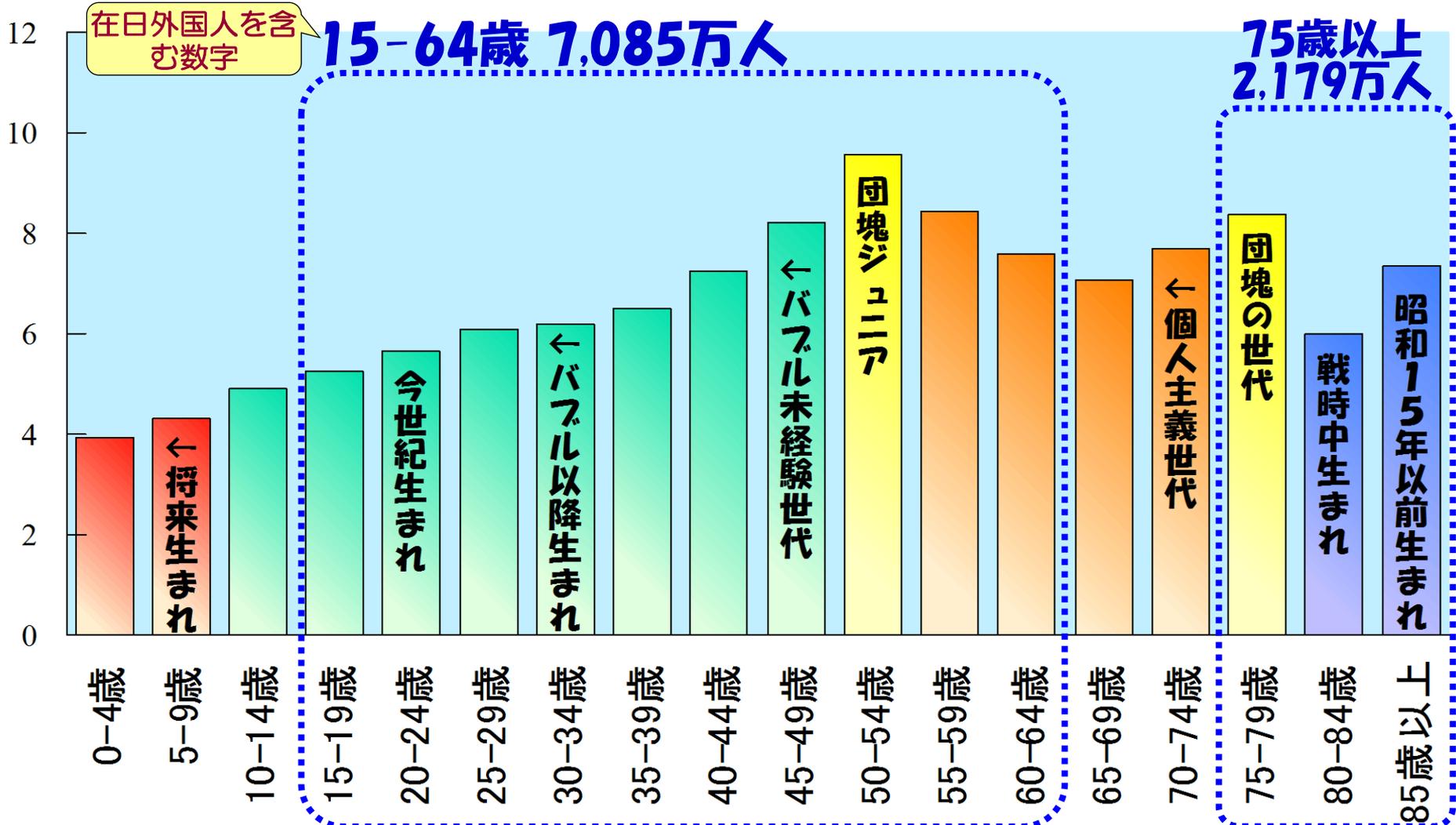
10年後の日本在住者



何歳の人口が多くなるのか：2025＝10年後

百万人

国立社会保障・人口問題研究所中位推計（2012年改訂）



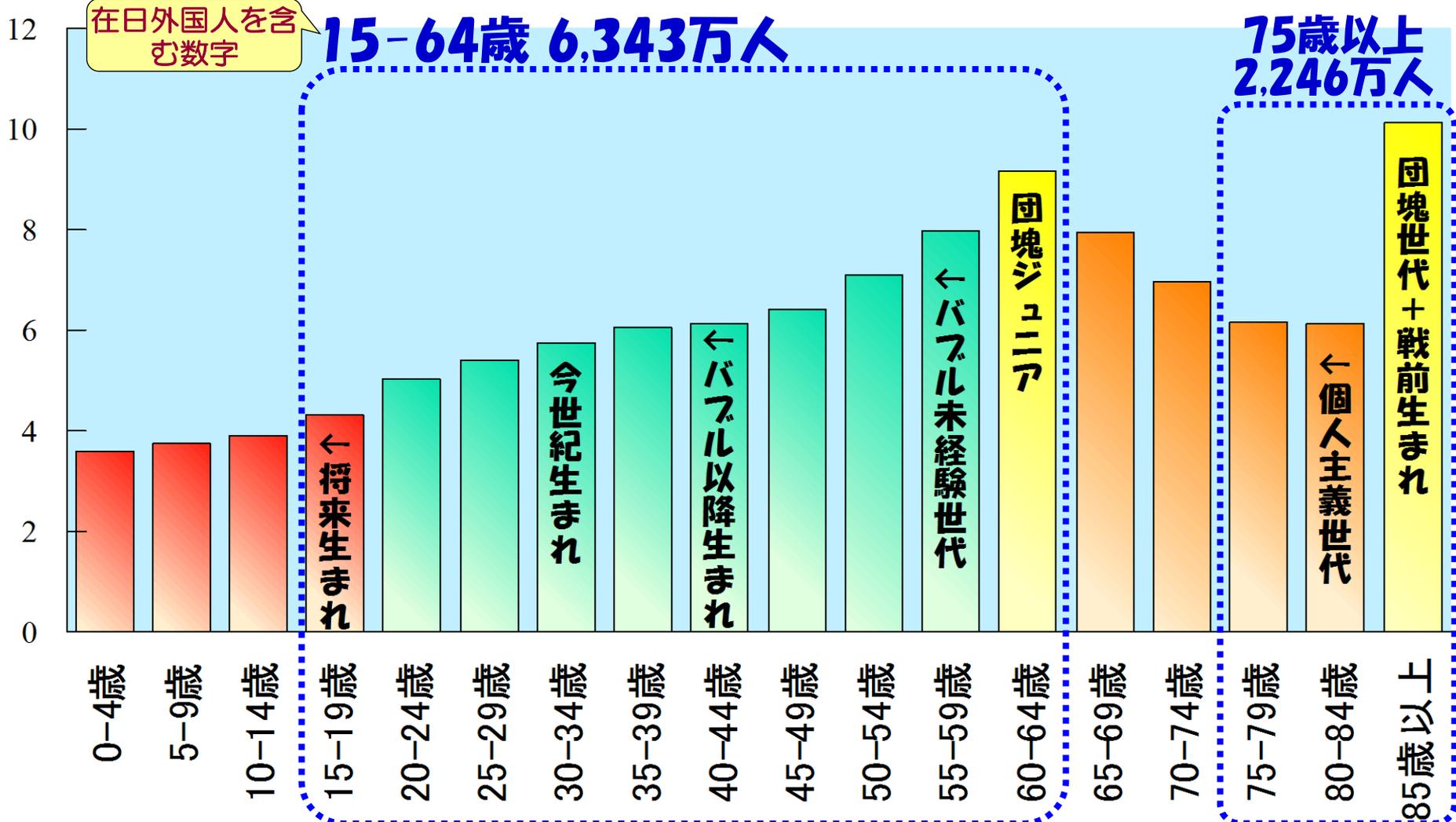
20年後の日本在住者



何歳の人口が多くなるのか：2035＝20年後

百万人

国立社会保障・人口問題研究所中位推計（2012年改訂）



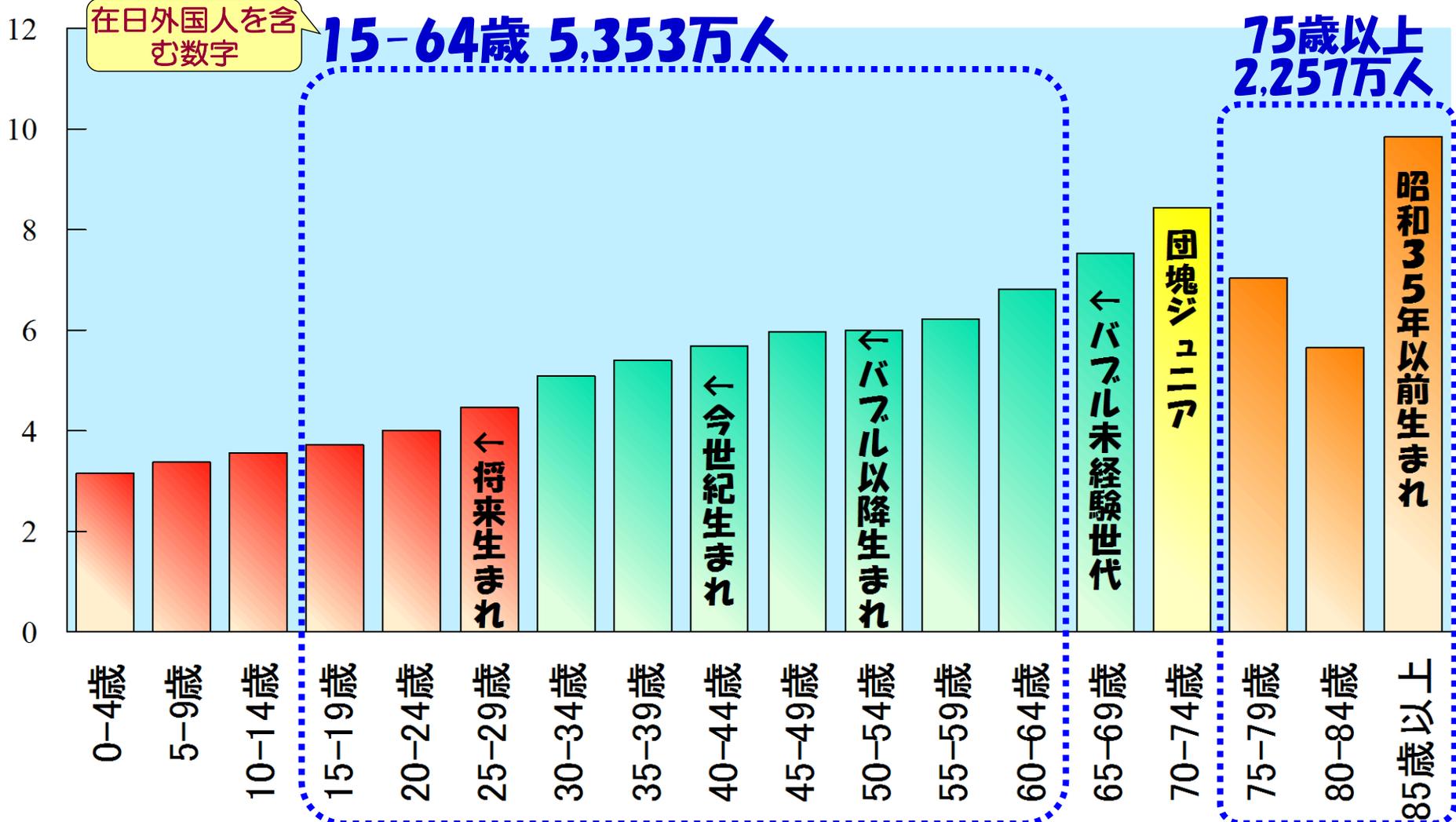
30年後の日本在住者



何歳の人口が多くなるのか：2045＝30年後

百万人

国立社会保障・人口問題研究所中位推計（2012年改訂）



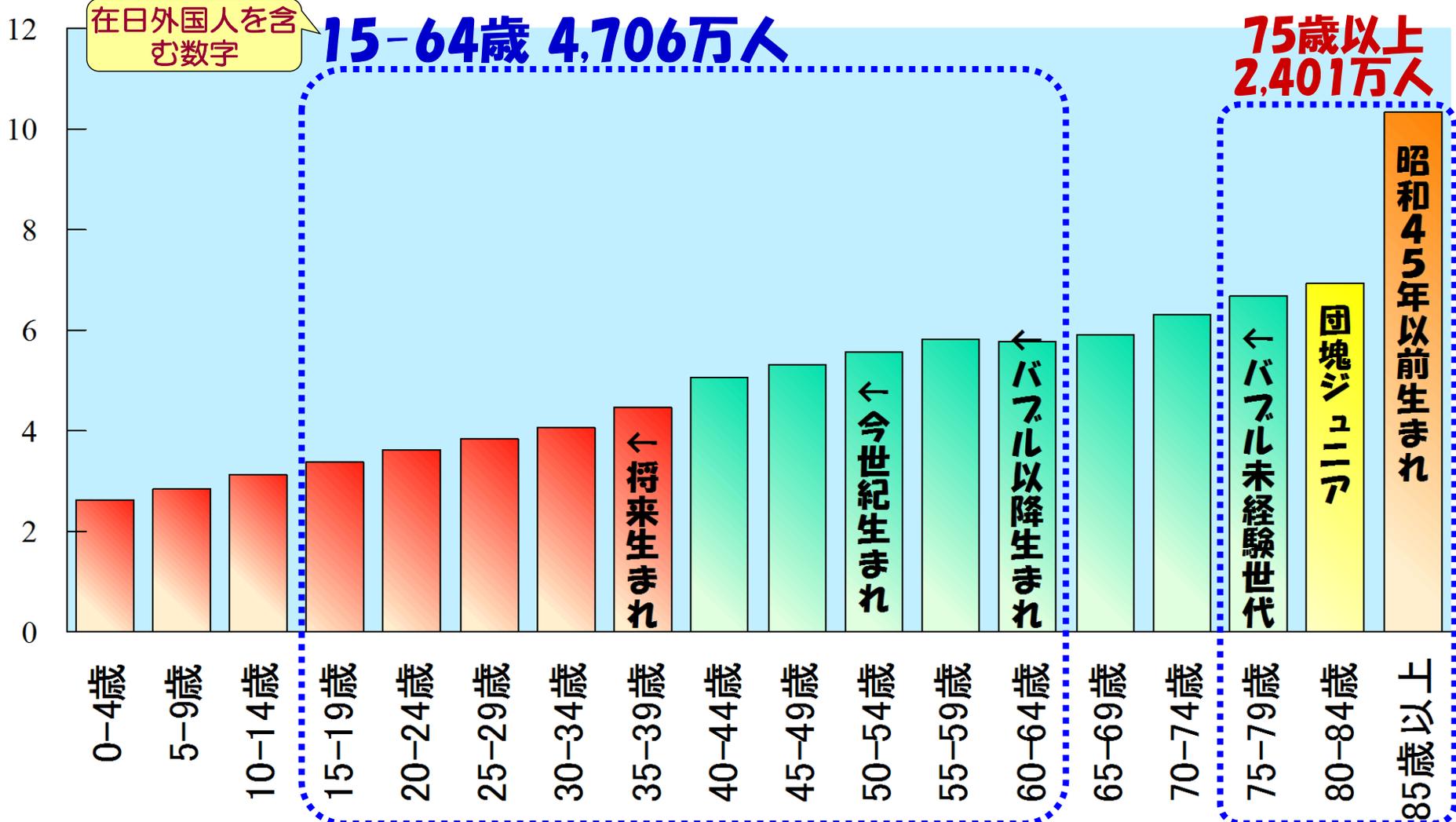
40年後の日本在住者



何歳の人口が多くなるのか：2055＝40年後

百万人

国立社会保障・人口問題研究所中位推計（2012年改訂）



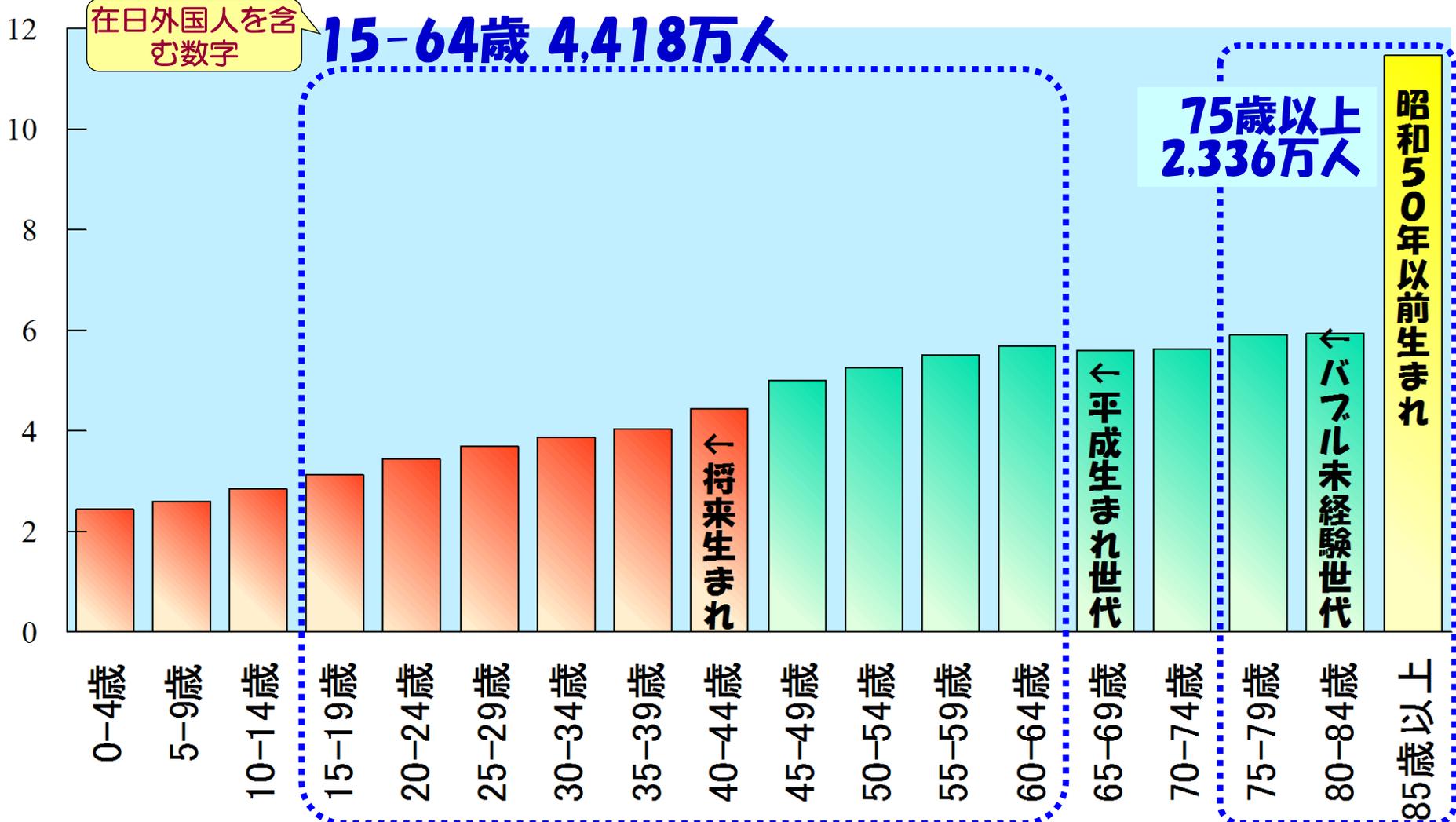
45年後の日本在住者



何歳の人口が多くなるのか：2060＝45年後

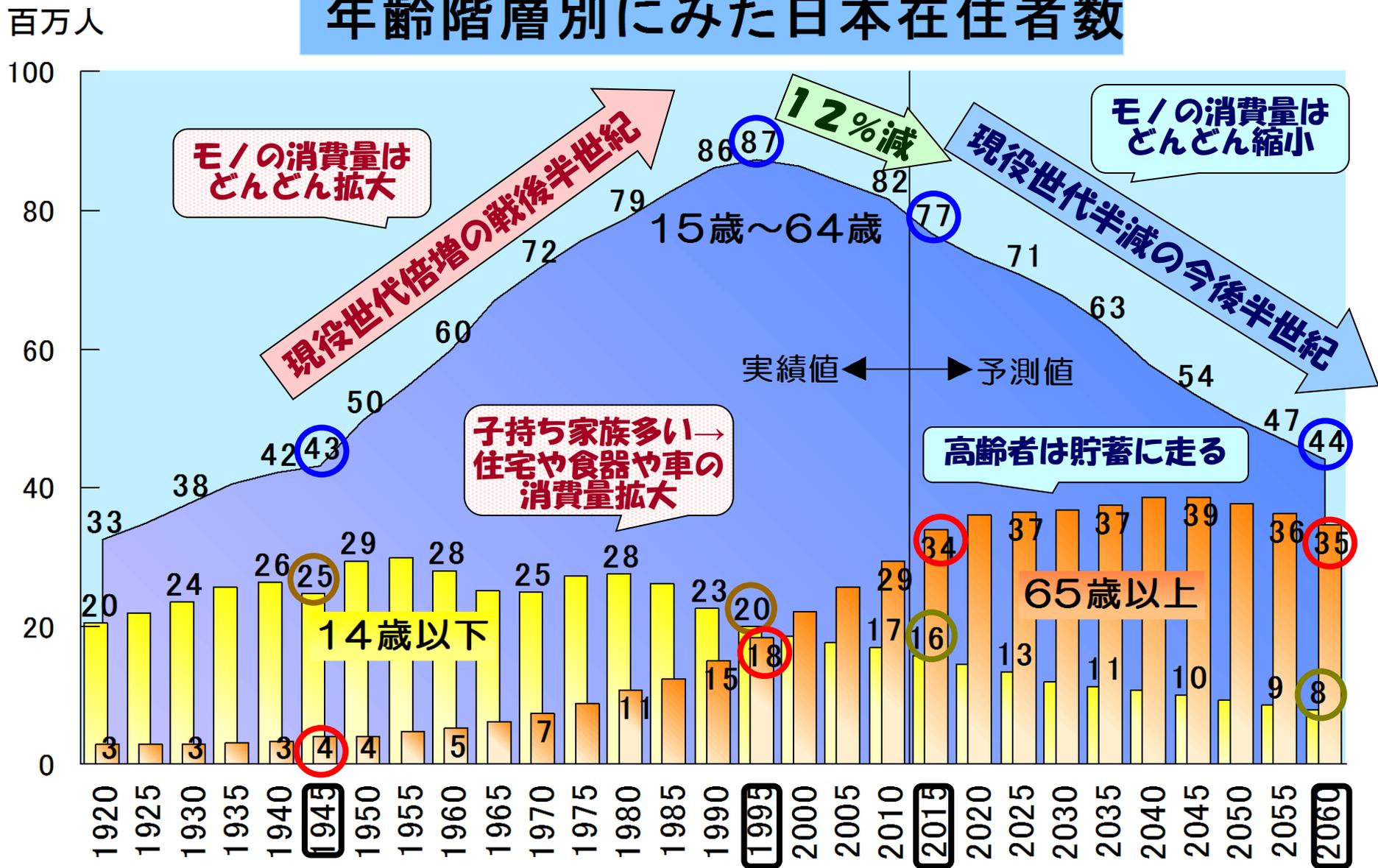
百万人

国立社会保障・人口問題研究所中位推計（2012年改訂）



逆落としに減っていく現役世代

年齢階層別に見た日本在住者数

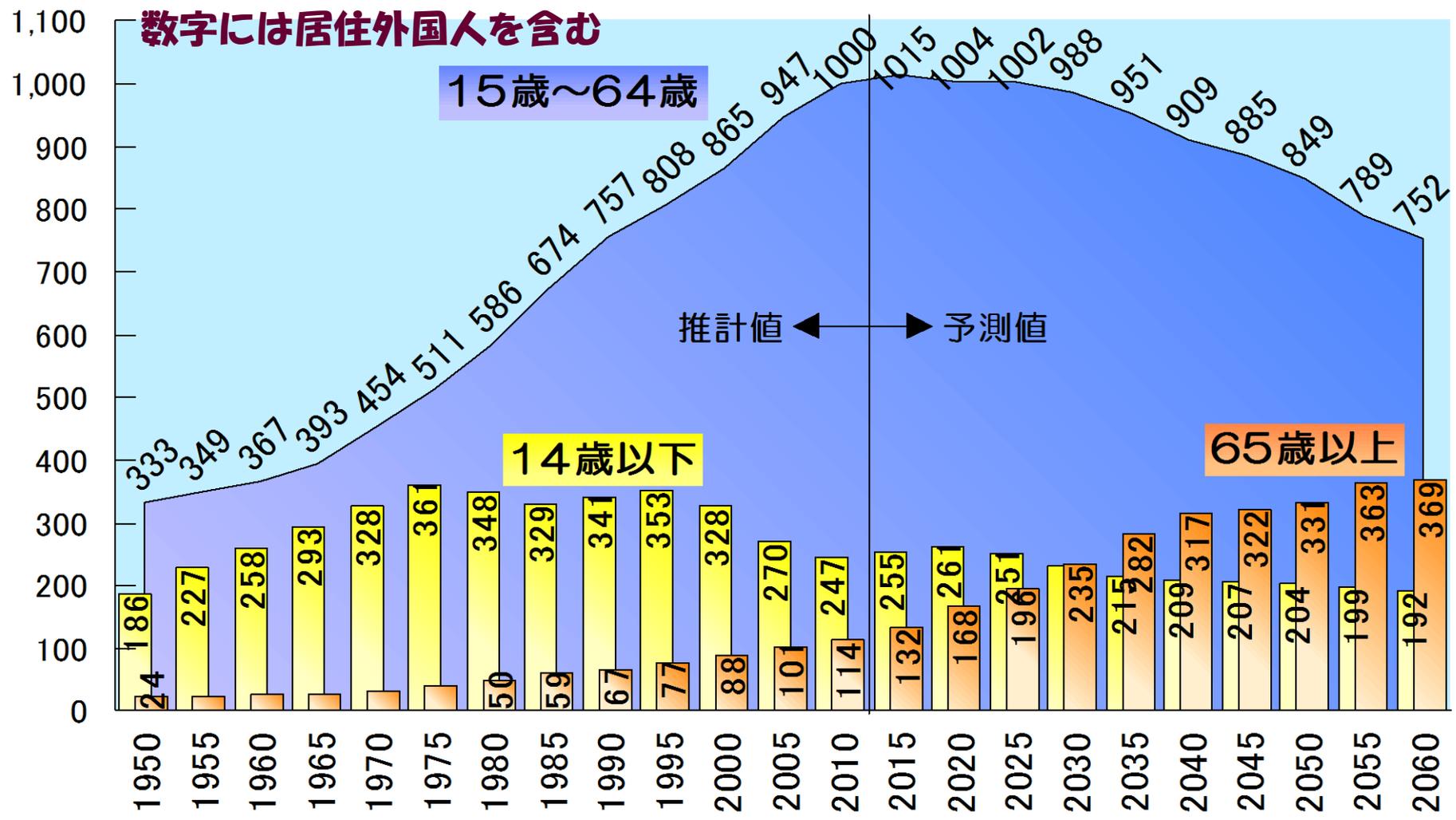


高齢者が増え現役は減る中国

年齢階層別にみた中国本土在住者数

百万人

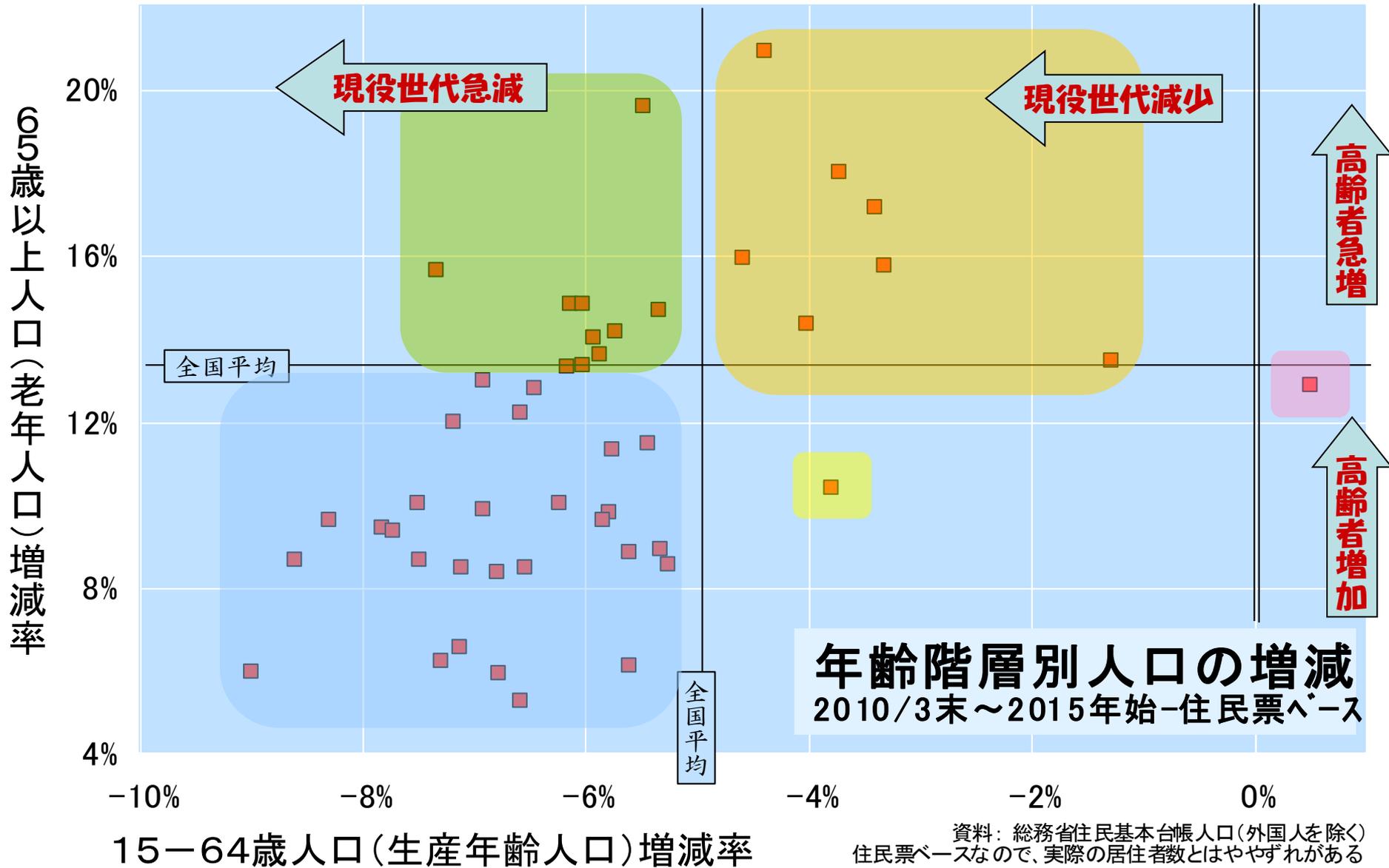
数字には居住外国人を含む



推計値 ← 予測値

資料：国際連合人口部 2012年推計・予測

人口でみた都道府県の最新の成績表

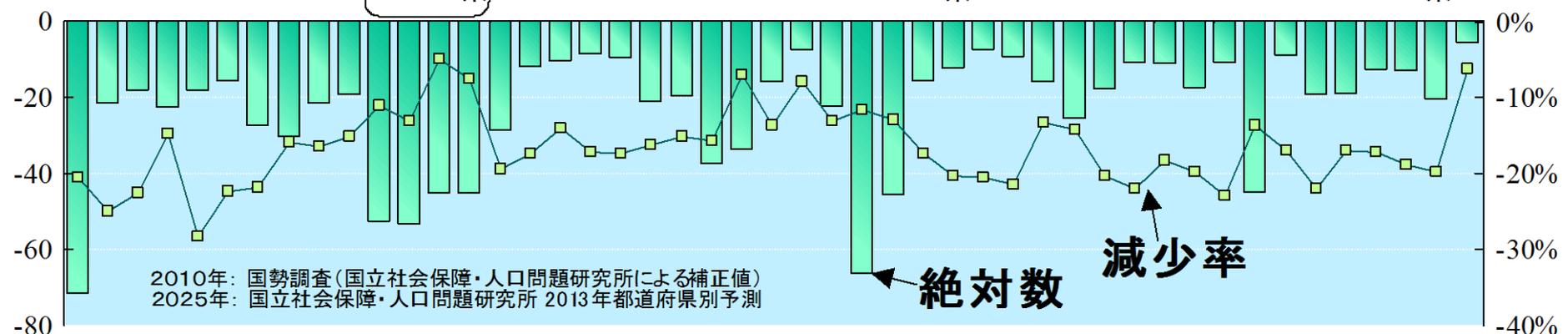
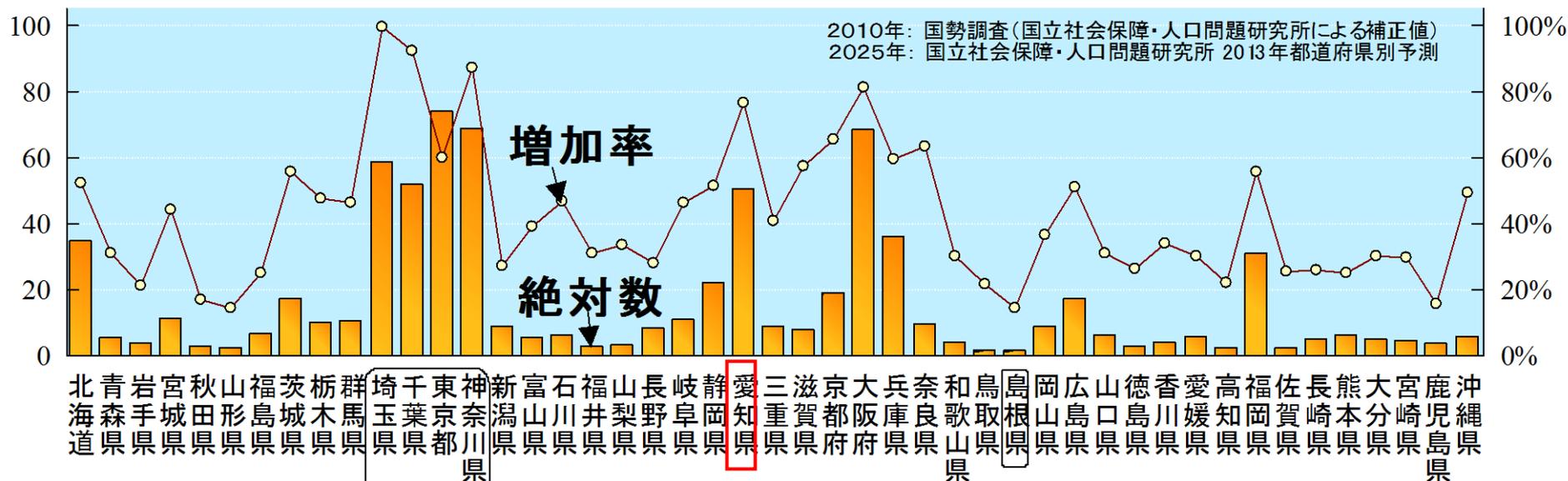


後期高齢者激増と現役世代減少 いずれも主舞台は大都市圏

増減の絶対数(万人)

75歳以上人口の増加 - 2010年→2025年

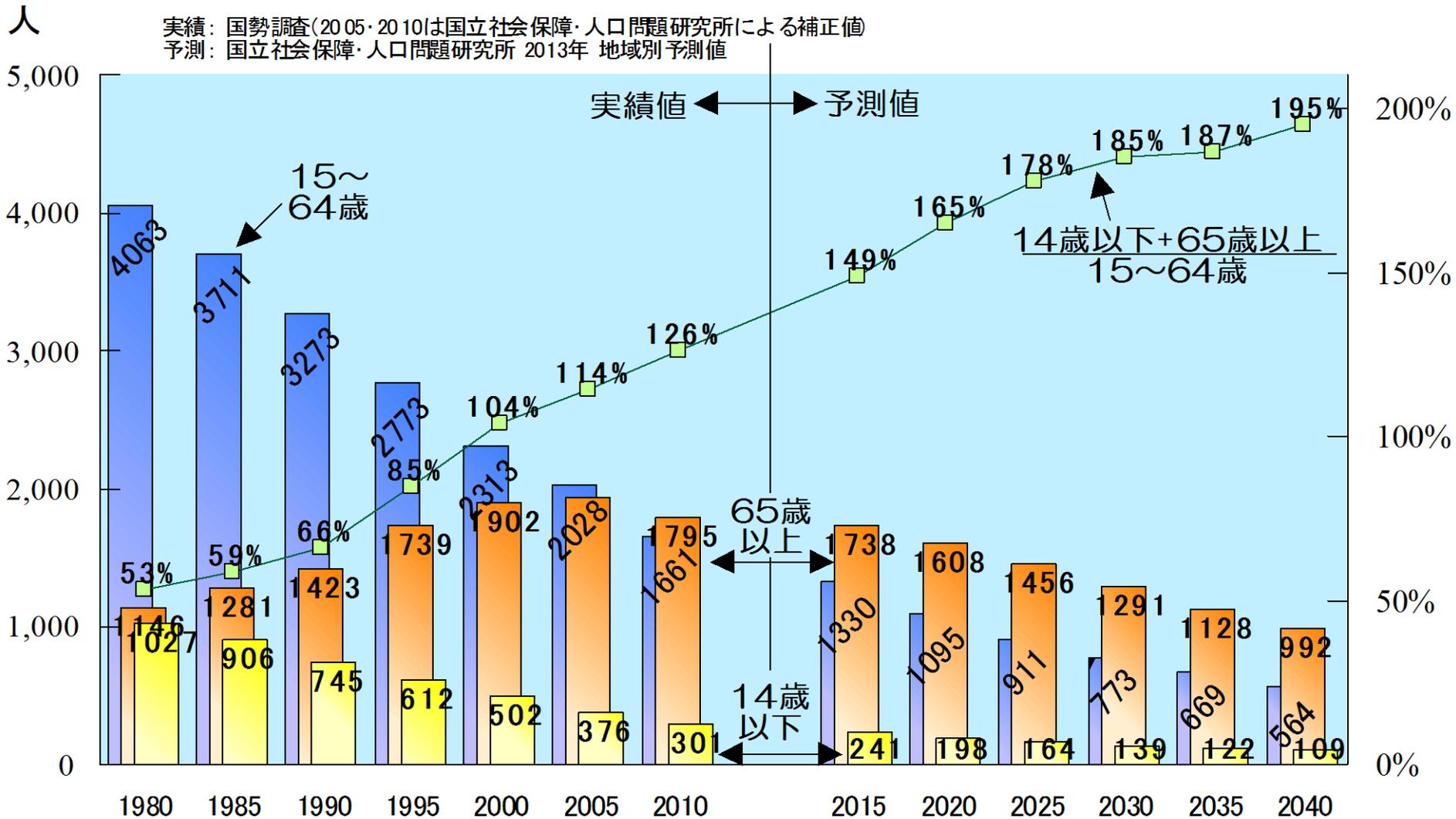
増減率



15~64歳人口の減少 - 2010年→2025年

全世代が減少している東栄町

年齢階層別に見た東栄町の在住者数（1980-2040）

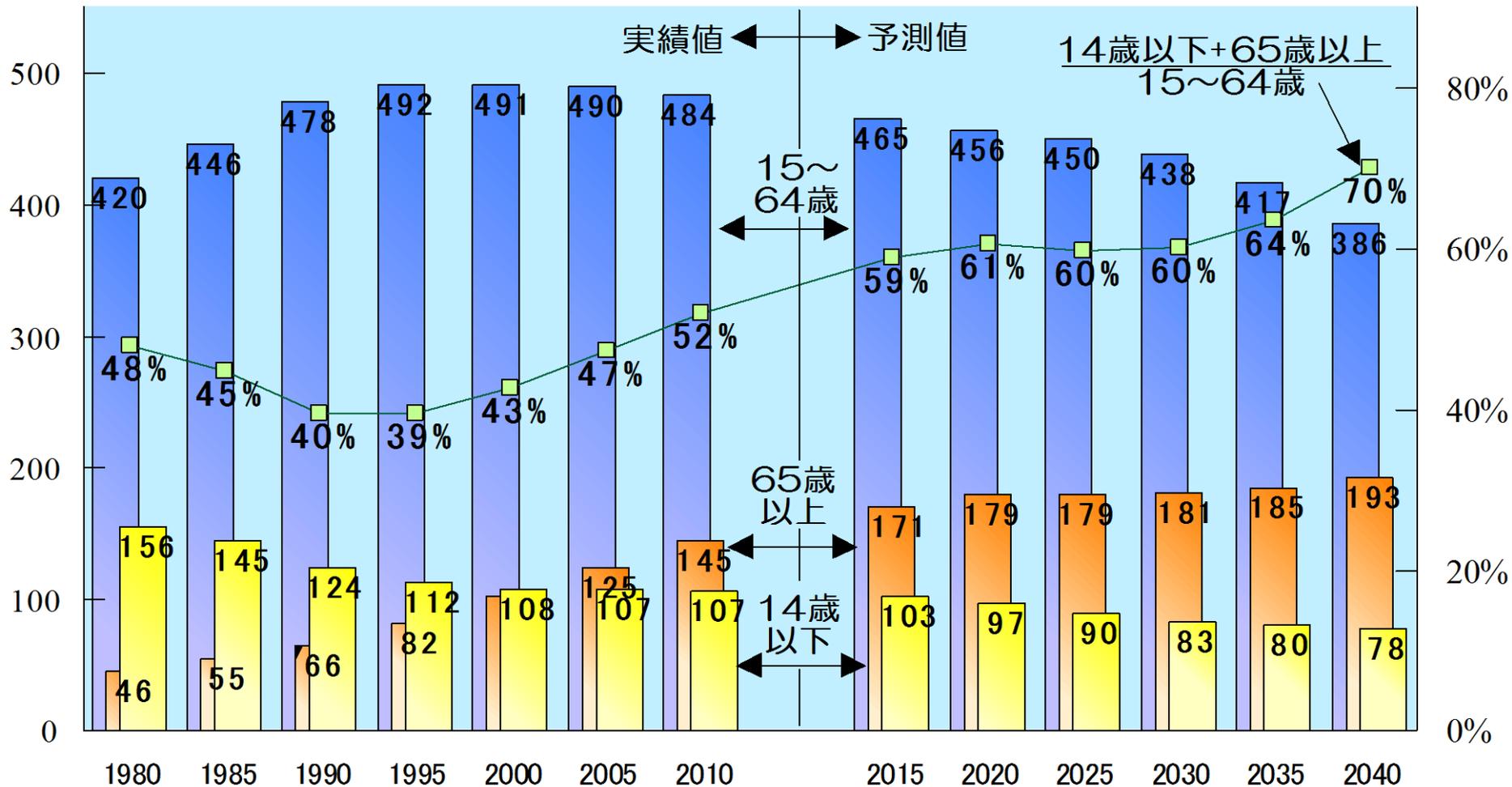


高齢者が増え現役は減る愛知県

年齢階層別にみた愛知県の在住者数（1980-2040）

万人

実績：国勢調査（2005・2010は国立社会保障・人口問題研究所による補正值）
 予測：国立社会保障・人口問題研究所 2013年 地域別予測値

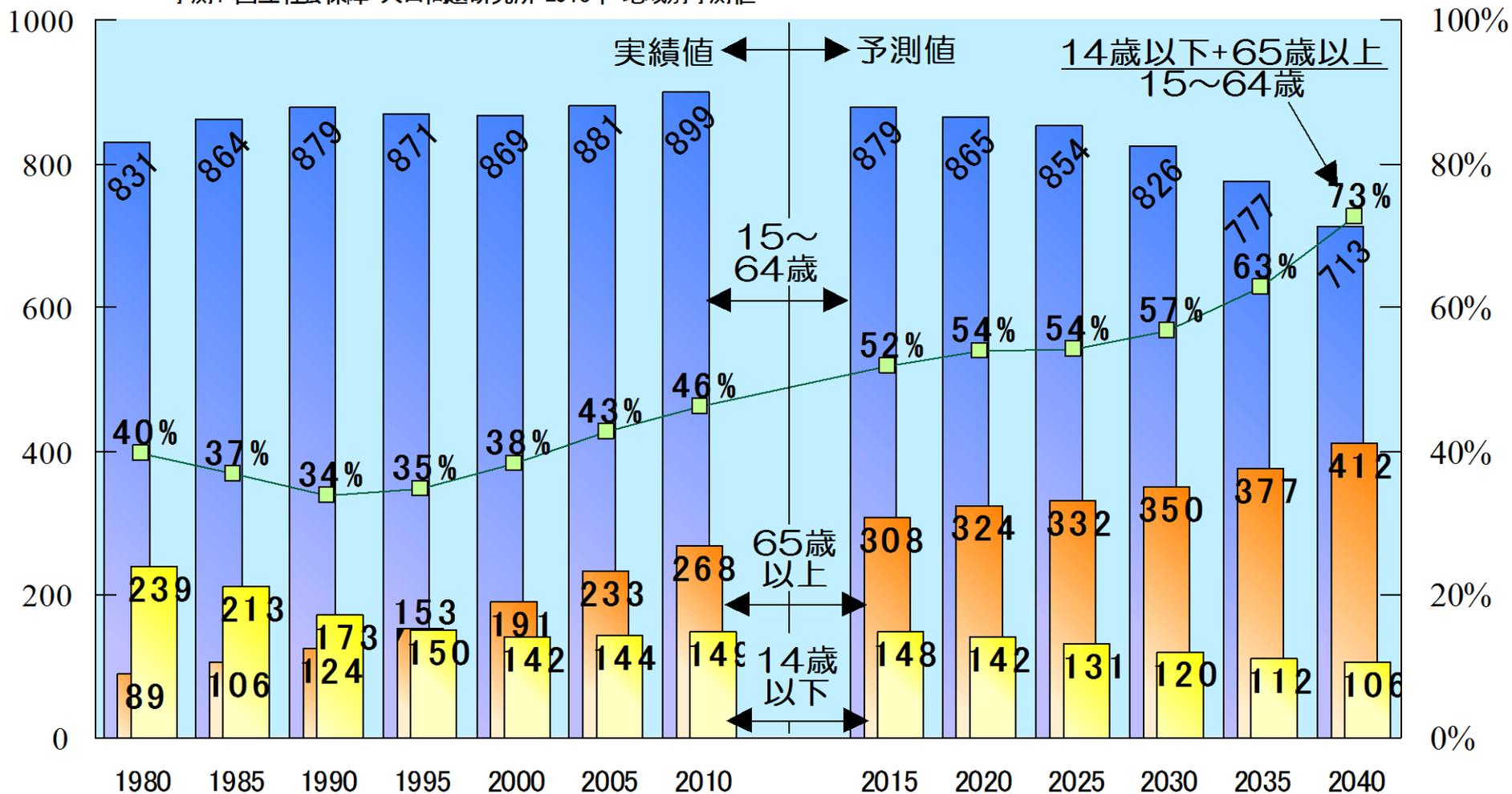


高齢者が増え現役は減る東京都

年齢階層別に見た東京都の在住者数（1980-2040）

万人

実績：国勢調査（2005・2010は国立社会保障・人口問題研究所による補正值）
 予測：国立社会保障・人口問題研究所 2013年 地域別予測値



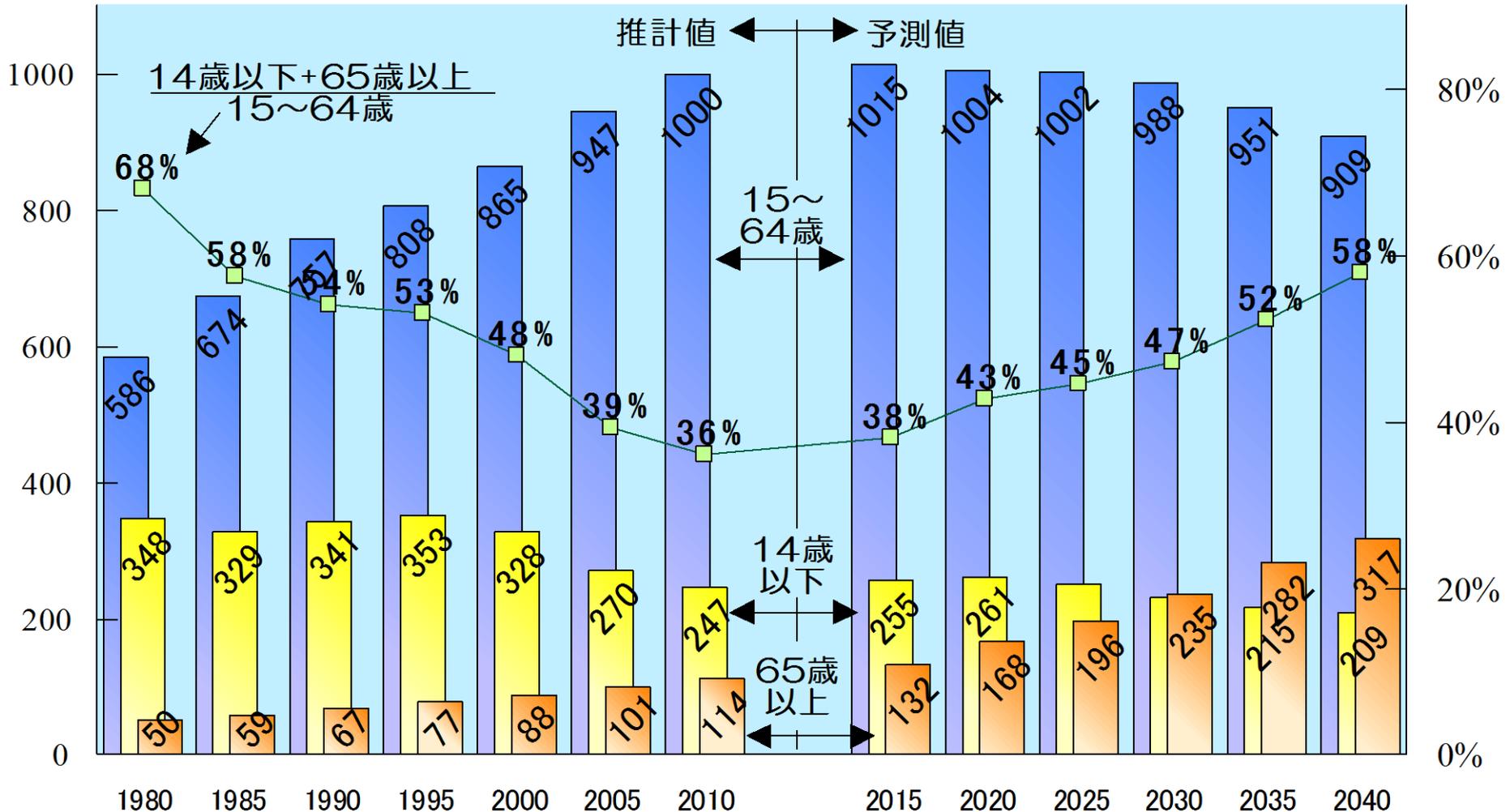
高齢者が増え現役は減る中国

年齢階層別にみた中国の在住者数（1980-2040）

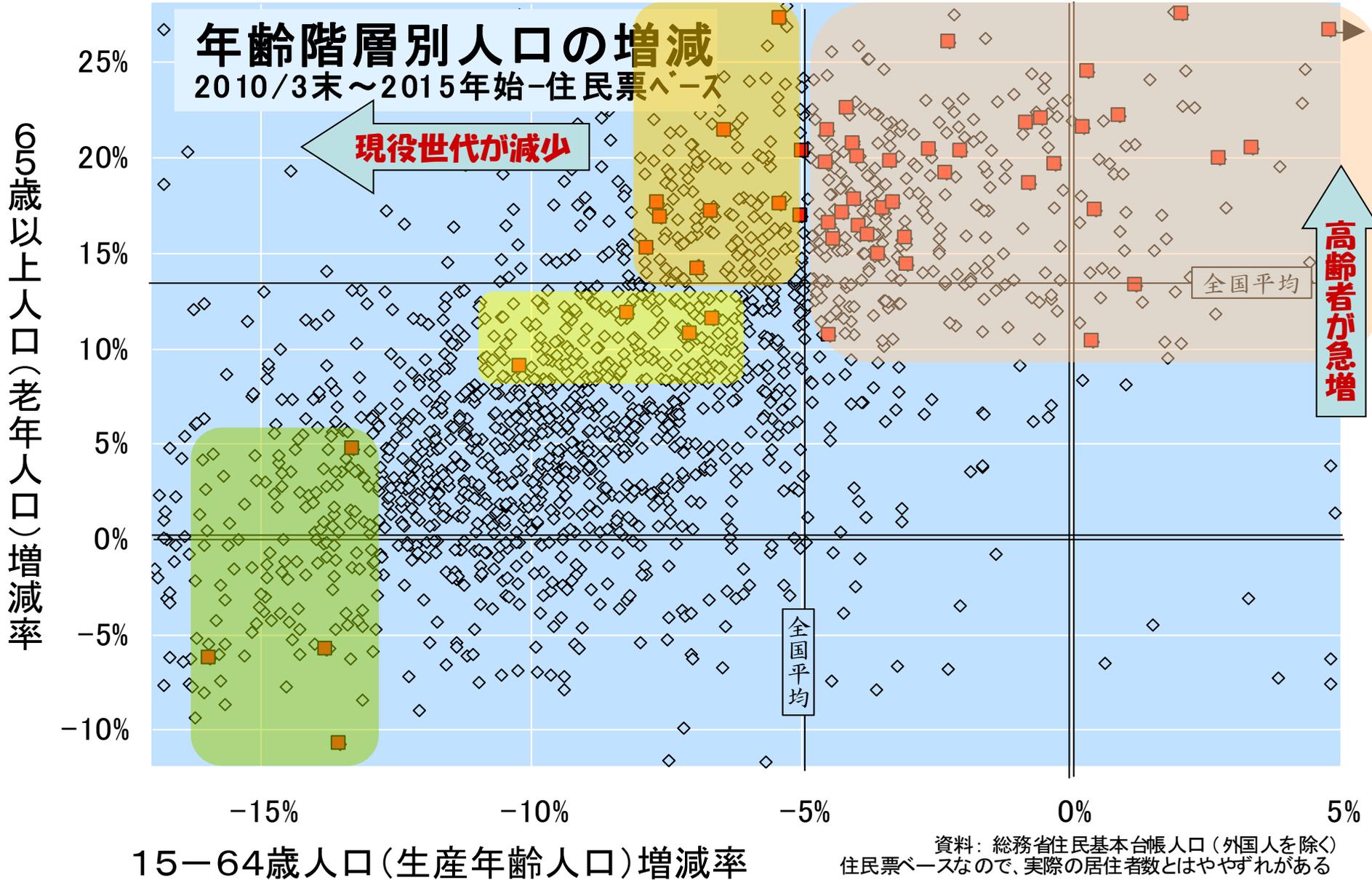
百万人

数字には居住外国人を含む

資料：国際連合人口部 2012年世界人口予測



人口でみた市町村の最新の成績表②

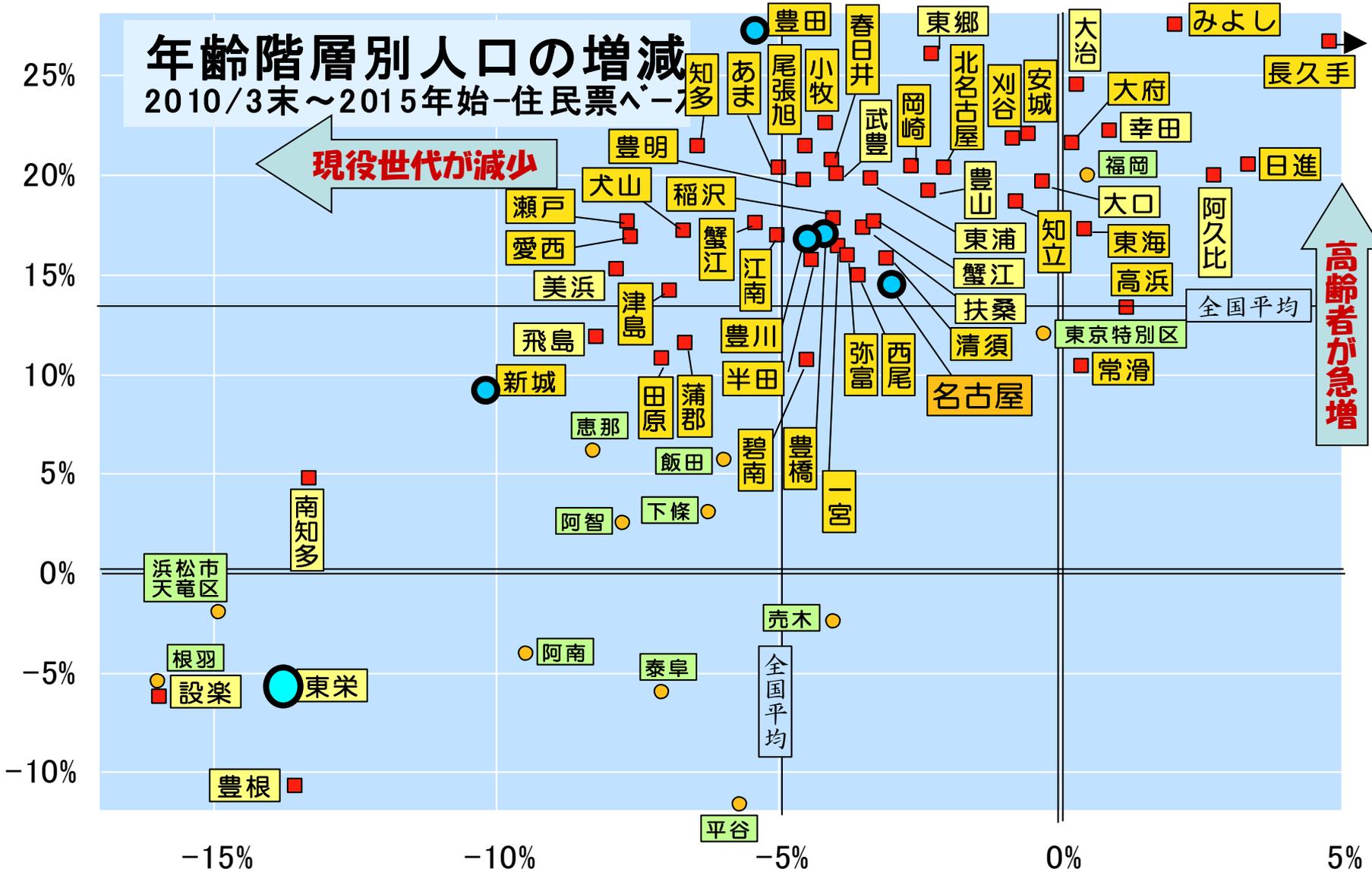


人口でみた市町村の最新の成績表②

年齢階層別人口の増減

2010/3末～2015年始-住民票ベース

65歳以上人口(老年人口)増減率



15-64歳人口(生産年齢人口)増減率

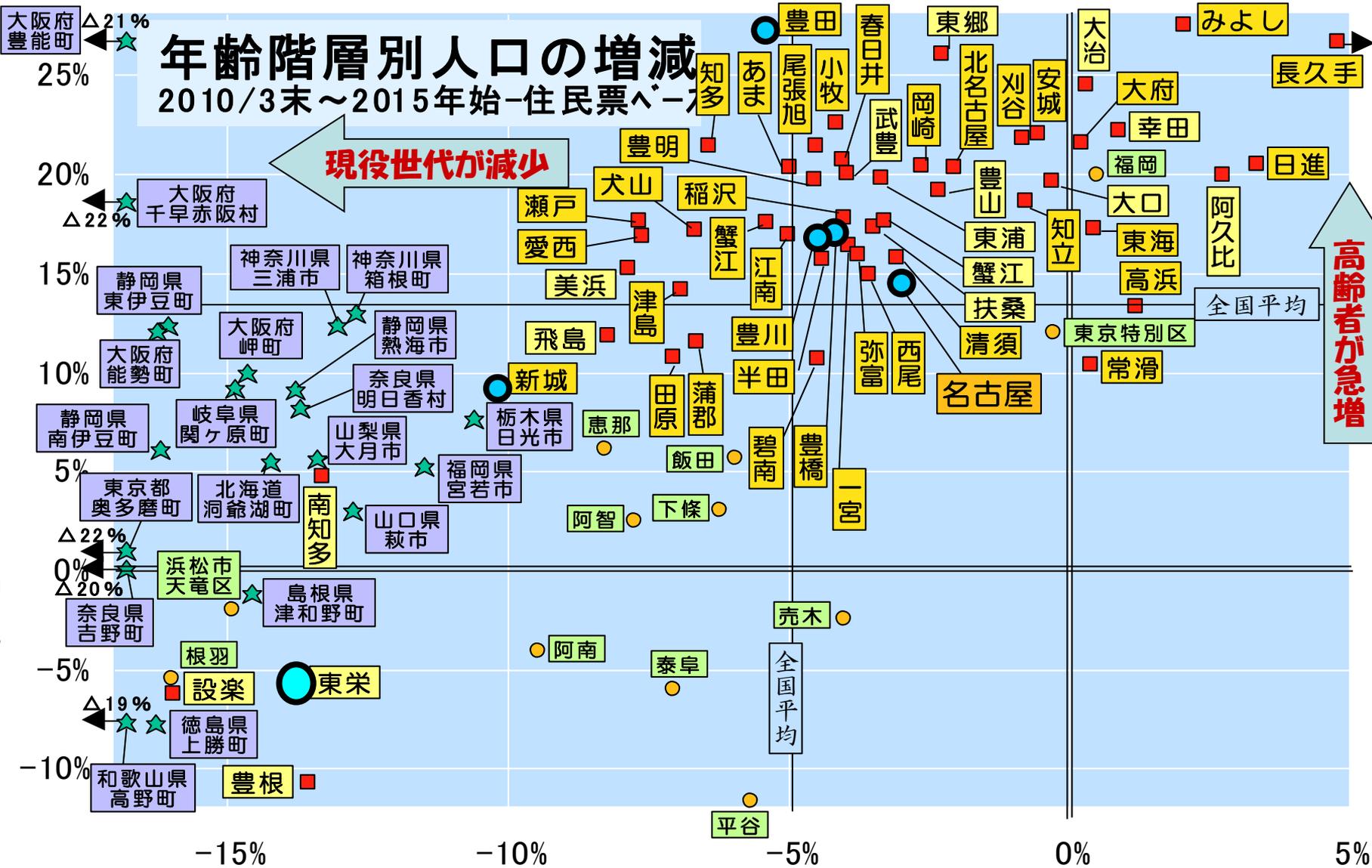
資料: 総務省住民基本台帳人口(外国人を除く)住民票ベースなので、実際の居住者数とはややずれがある

交通至便でもダメな場所はダメ

年齢階層別人口の増減

2010/3末～2015年始-住民票ベース

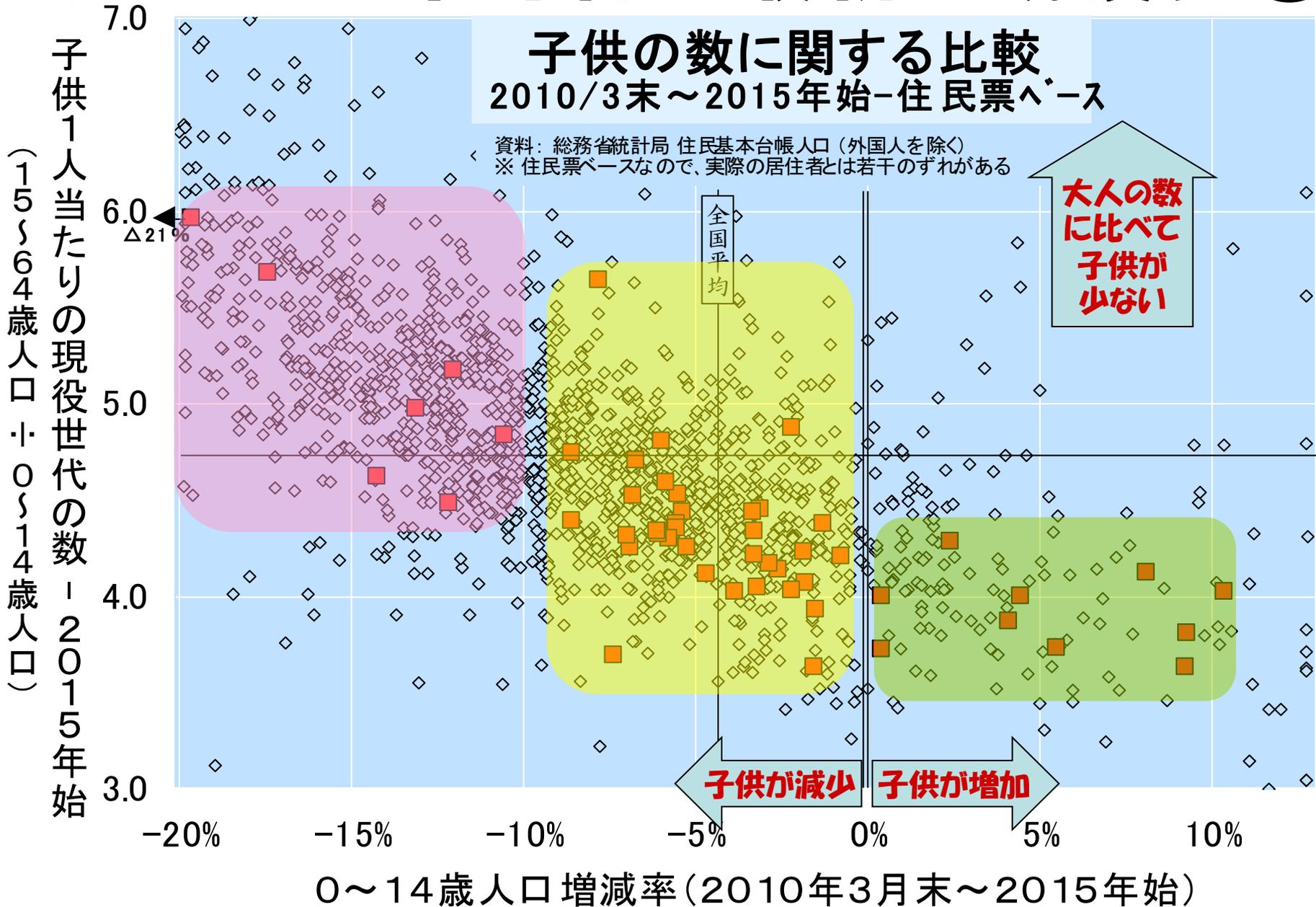
65歳以上人口(老年人口)増減率



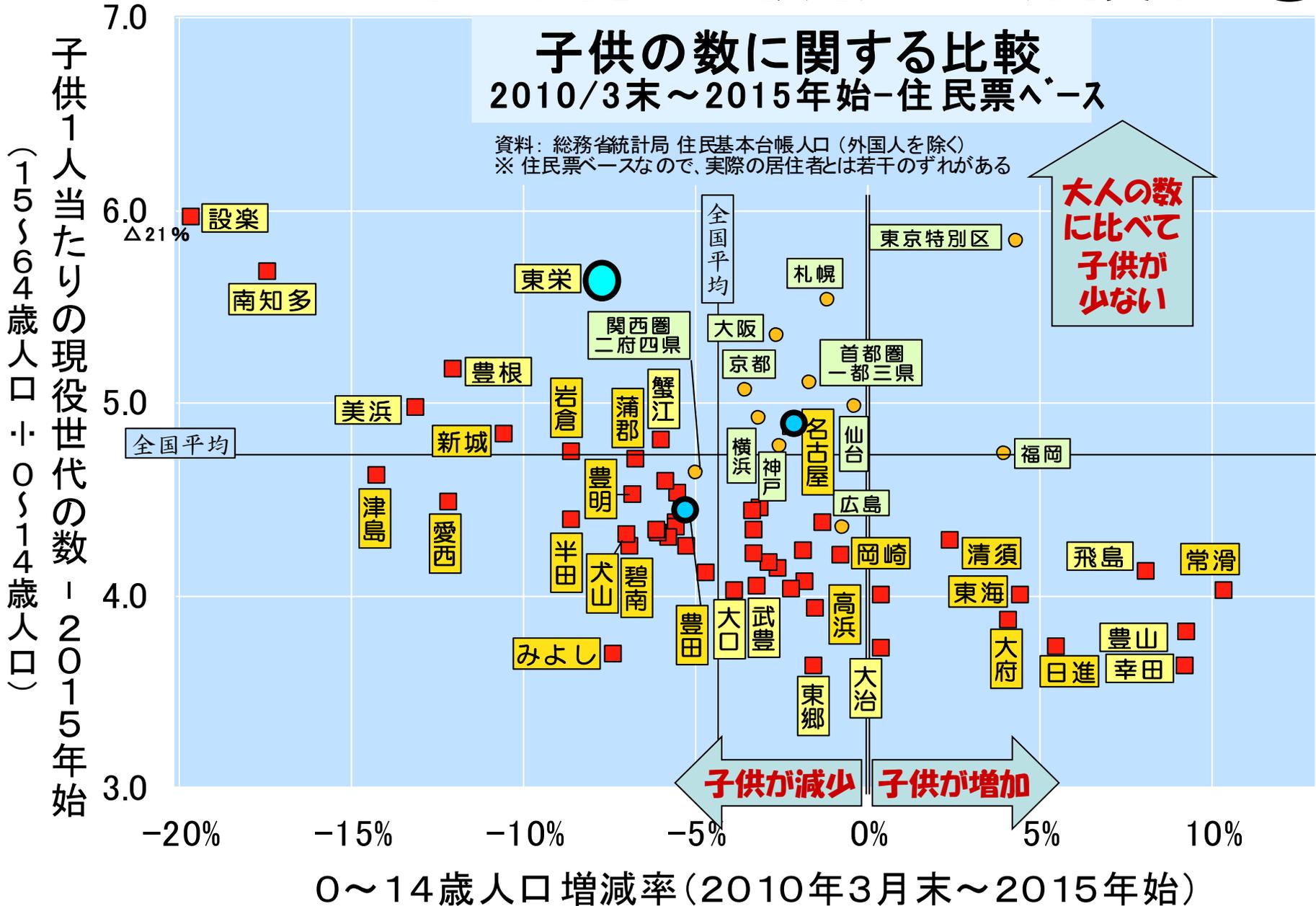
15-64歳人口(生産年齢人口)増減率

資料: 総務省住民基本台帳人口(外国人を除く)住民票ベースなので、実際の居住者数とはややずれがある

人口でみた市町村の最新の成績表③



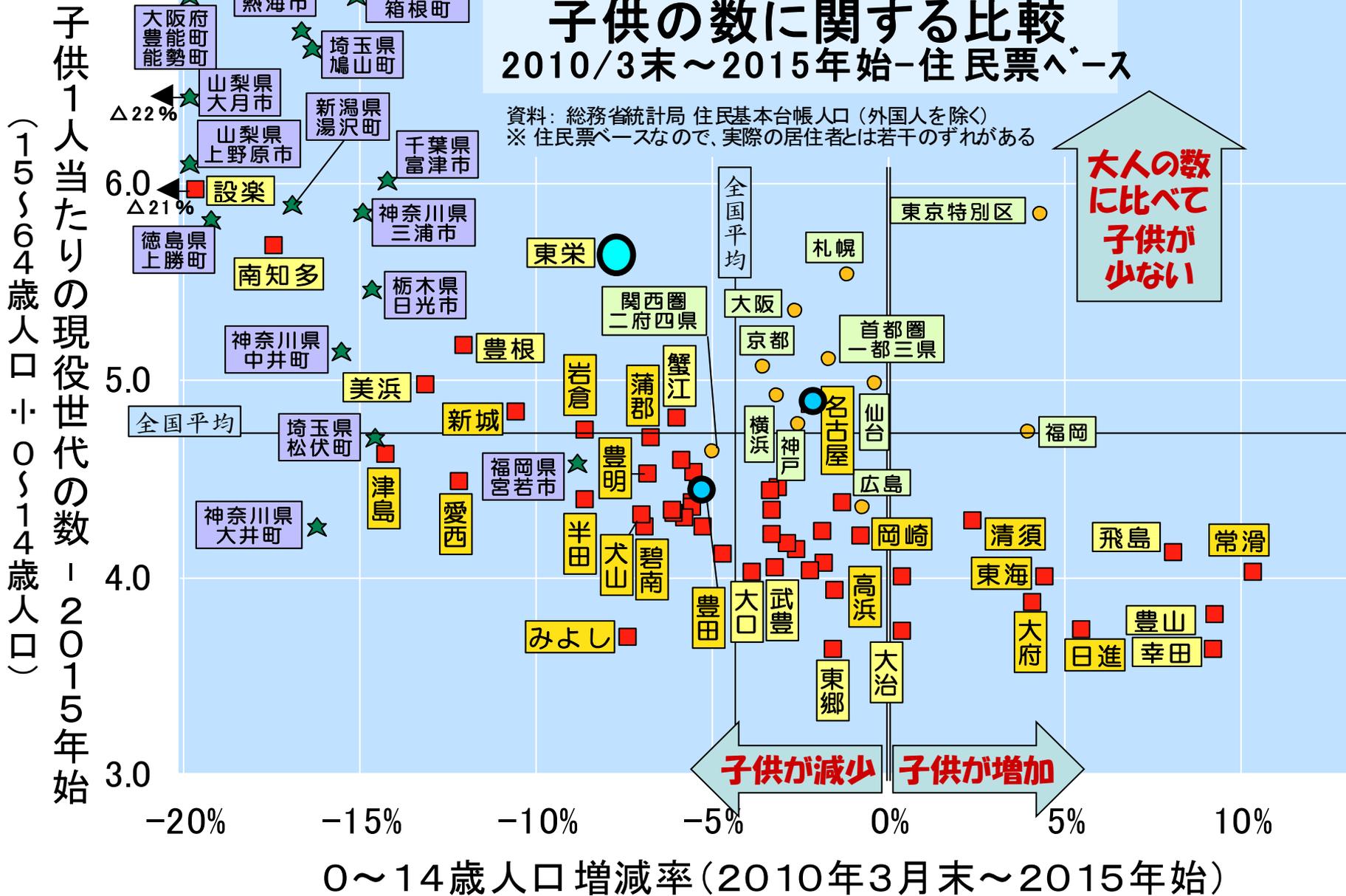
人口でみた市町村の最新の成績表③



交通至便でもダメな場所はダメ

子供の数に関する比較 2010/3末～2015年始-住民票ベース

資料：総務省統計局 住民基本台帳人口（外国人を除く）
※ 住民票ベースなので、実際の居住者とは若干のずれがある



お金の使い方次第で地域が変わる

売上

地域外への売り上げを増やし、
もっと「外貨」を獲得！

都会に預けず地域内に再投資！

地域から資金調達！

地域から資金調達！

地域の自然エネルギー活用！

地域内向けは安く！

地域の業者に発注！

地消地産物々交換を促進！

雇用増！賃上げ！兼業奨励！

内部留保

配当

金利

光熱費

地代家賃

設備費

原材料費

給料

地域内の誰かの貯金に回る

地域外に出て行ってし

受け取った人が地域内でまた使う

多くは結局、地域内では使われないまま

地域内では循環せずに都会や海外を活性化させる

地域内で循環し、雇用と若者人口を増やす！

地域外へは送らそう

東栄町民1人が1年間に
消費する額は200万円程度

→ その1%=2万円 町内産の消費を増やせば
+6,600円が地元に戻る

→ これは給与+福利厚生300万円/人の
雇用22人分の額！

！
奨励！
或通貨支給！

内部
留保

配当

金

用

原材
料費

給料

東栄町民1人が1年間に
払うエネルギー代を50万円程度とすると

→ その10%=5万円省エネを進めれば
+1億6,500円が地元に戻る

→ 給与+福利厚生300万円/人の
雇用55人分の額！

多くは結局
では使われない

し、雇用
人口を増やす！

里山資本主義とは

お金の世界で成長を目指す「マネー資本主義」の反対語。
お金にならない価値も重視、循環再生で社会を持続。

「物々交換」や「恩送り」の重視+原状不稼動の「原価0円資産」活用：
! お金を使わない分GDPは減るが、幸福度と持続性は増大
! 資源購入の減少 → 金銭換算された域際収支も改善

「客数」や「売上」よりも、「地域内でどれだけお金が回るか」を重視：
! 「地消地産」で、地域外に出て行くコストを減らす
← 地元民と観光客の消費するものは、なるべく地元産にする
← 地域内消費を、地元民の給料と地元産の原材料費に回す

目先の「経済成長」よりも、「人口」と「天然資源」の循環再生を重視：
! 出生率1.1、自給率0%の東京の限界を直視
! 農山村への若者回帰促進、子育て支援への投資

マネー資本主義と里山資本主義

マネー資本主義

里山資本主義

動機

自分が、いま、一番になる

社会が減びずに続いていく

目標

お金儲けの一番を目指して
際限なく稼ぎ、貯め込む

代わりのない中継者になる
= 稼いでは回しバトンをつなぐ

戦略

粗暴バージョン：
他者/他集団から奪い取る

素朴バージョン：
何でも自給自足する

知能バージョン：
未来/次世代から搾取する
← 簿外資産を浪費して蓄財する
(地下資源、水、土壌、大気、子供、絆...)
← 借金や汚染物質を後世に残す

成熟バージョン：
循環・再生が可能な範囲で
ほどほどに稼ぎ、使う
← 使ったものは元に戻す
← 1万万と清浄な環境を残す

手法

等価交換 / 金融投資
自由競争 / リスクの個人化

物々交換・贈与 / 実物投資
協働 / リスクの社会化

里山資本主義・エネルギーの大逆転

× **20世紀：建物は鉄筋コンクリートか新建材フレハフ**

○ **21世紀：木造近代建築の登場で革命が進行**

→ 燃えない、丈夫で長持ちで地震に強い、集成材建築が新登場
欧米では7階建てや9階建ての木造高層建築も増加中

→ 日本でもうすぐ国産集成材の利用が増えれば、林業や製材業が再生するうえ、木屑やチップを燃やすことで、灯油より何割も安く(場合により半額で)暖房や発電ができる!

× **20世紀：木を燃やすより灯油や電気が安い**

○ **21世紀：原油高で、雑木林の価値が大復活**

→ 薪ボイラー、薪ストーブの技術革新で燃焼効率が急上昇

→ 遠くから送電/油を輸送するより、近くの薪の方が安い

→ 20年毎に雑木林を伐採して薪にするサイクルが復活へ?

里山は放置しておけばいい？

× 里山は放置しておけば原生林に戻って安定する？

→ 戦後に植えられた木が、今後一斉に枯れていく。

→ 放置しておけば、全国で山崩れが急増する。

→ 原生林に戻すにも多年の周到な手入れが必要。

× これまで放置してOKだったのだから、これからもOK？

→ 里山には、2～30年前までは薪を取る人が入っていて、そのために森の健全性が保たれていた。

→ 今では老木が日光をさえぎり、成長不全の細かい木が密集して、豪雨に弱い山になっている。

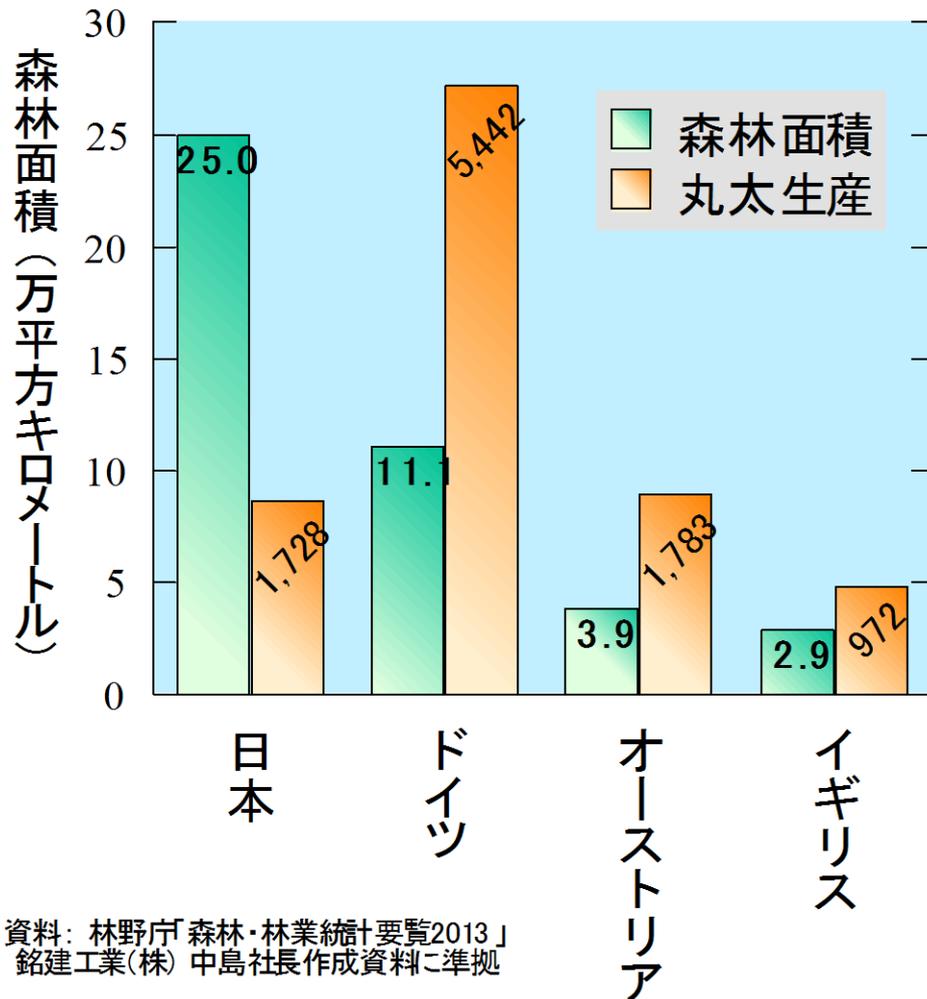
× 里山を守るには、幾ら金があっても足りない、つまりもうムリ？

→ 里山は使い方次第では「宝の山」になる。

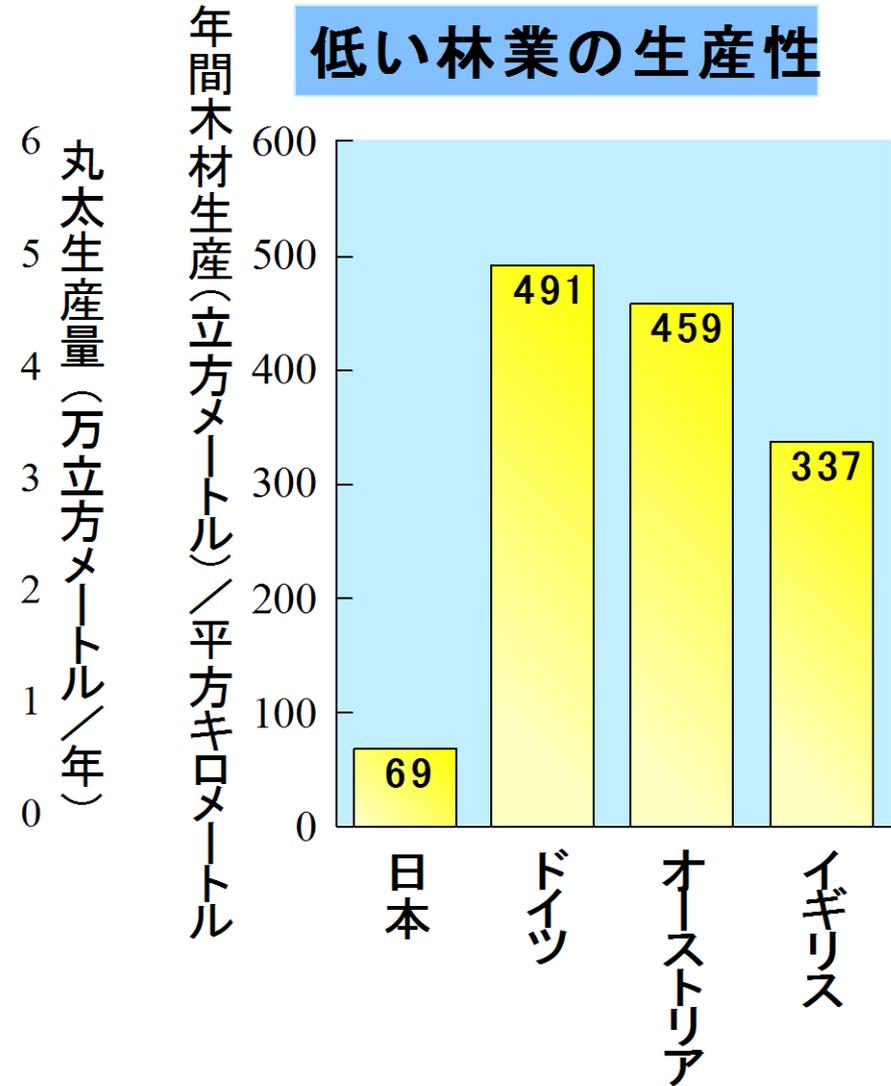
①新世代林業 ②雑木林を薪山に ③地域の社交場

林業は先進国にふさわしい産業 日本は何倍にも伸ばせる

森を活用できていない日本



低い林業の生産性



里山資本主義・産業の大逆転

× **20世紀**：「**ハイテク工業**」で**経済成長・雇用増**

○ **21世紀**：「**6次産業**」で**循環・再生の拡大**

1次(栽培/漁獲) × 2次(加工) × 3次(ブランド化) = 6次産業

→ **ハイテク産業地域の苦境**：商品陳腐化加速・低収益・雇用減

→ 地元の農水産品に根ざしたブランド品や集客交流は好調

→ **国際競争に強いのはスイスや仏伊など6次産業の強い国**

→ 世界中から一番安くて大量に作られたものを買ってくるのではなく、地元産の質を上げてもっともっと使う生活へ

観光客に地元産以外の食材を出していないか？

地元民は、地元内産を買っているか？

何も考えずにお金を地元の外に戻していないか？

「里山資本主義」的地域活性化を

① 安さでは勝負せず高品質の商品で外貨獲得:

当地独自の生活文化に支えられた、ハイセンス・少量・高単価の「地域ブランド商品」「生活文化観光」で外から稼ぐ(=「いま」「ここ」にしかないものを売る)。

② お金と遊休資産をもっと地域内でぐるぐる回す:

地域内産の食材、建材、人材の質を上げて地元で使い倒し、未就労女性や障害者を雇用し、時短で「時給」を高め、兼業を奨励し、空き不動産は安く賃貸する。

③ 省エネ・新エネ投資でエネルギー代を大幅削減:

建物の改築・断熱改修を進めて大幅な省エネを実現。建材にはなるべく地元産材を使い、木屑を燃料利用。小水力・風力・地中熱・廃油・廃熱を余さず使う。